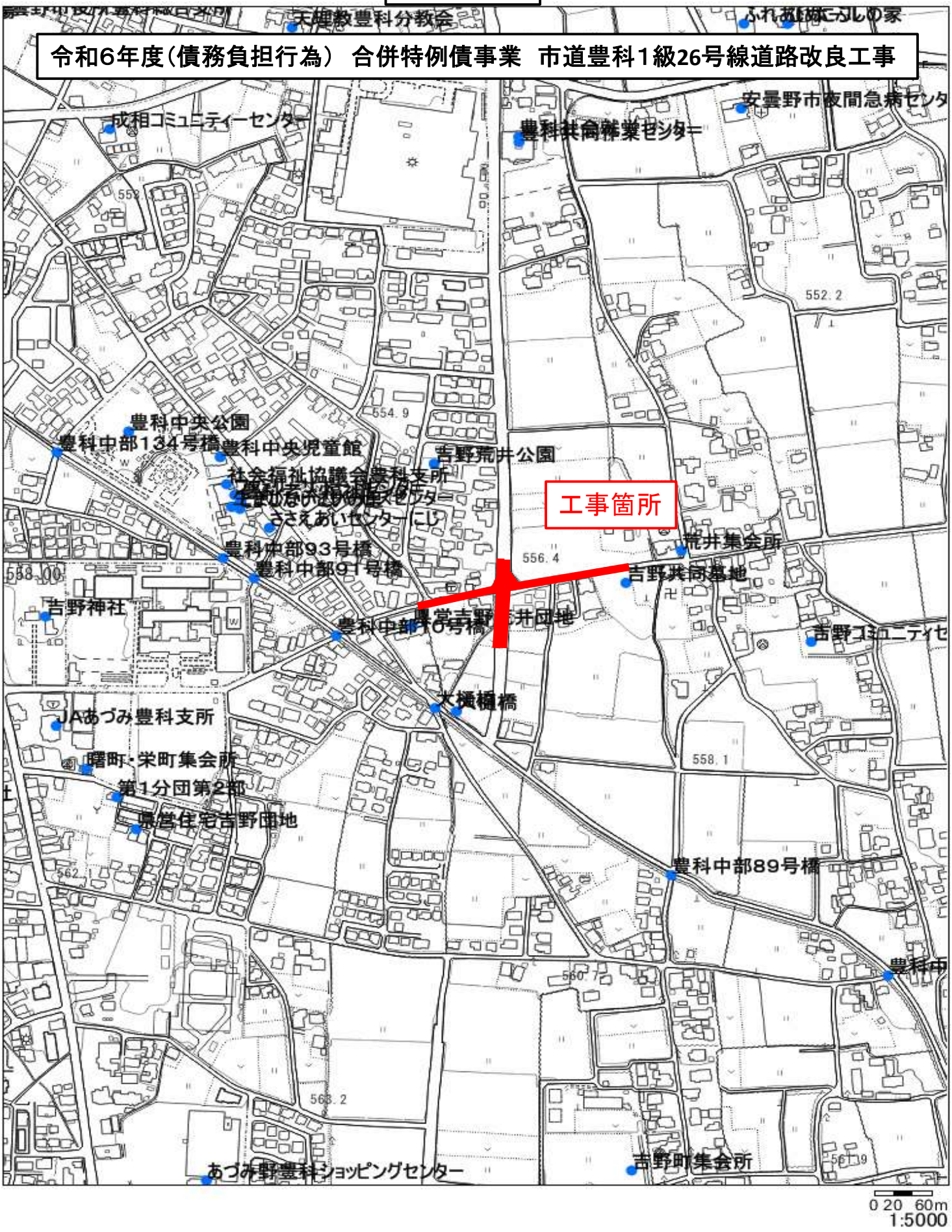
位置図

令和6年度（債務負担行為） 合併特例債事業　市道豊科1級26号線道路改良工事



特　記　仕　様　書

工事名：令和６年度(債務負担行為)　合併特例債事業　市道豊科１級26号線道路改良工事
箇所名：安曇野市 豊科

本工事の施工にあたっては指定された図書を参考にし、『安曇野市土木工事共通仕様書』（安曇野市ホームページを参照）の内容に従うとともに、以下の事項について施工条件とする。

１　工事内容

工事概要：金抜き設計書のとおり。

２　工期関係

工期は、雨天･休日等を見込み、工事開始日（契約日）から279日間とする。

なお、休日等には日曜日･祝日･夏期休暇及び年末年始休暇の他、作業期間内の全土曜日を含んでいる。

但し、80%出来形展開図については、金額変更が必要となるため令和７年２月28日までに提出すること。

著しい悪天候や気象状況より工程が過去５年度分の気象庁及び環境省の最寄りの観測所のデータより年間の平均発生日数を算出した日数から著しく乖離し、かつ作業を休止せざるを得なかった場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議、請求することができる。

３　工程関係

本工事に際し、適切な工程を計画すること。

また、周辺住民、地域関係者に対しては通知・連絡等を必ず実施し、周知すること。

４　残土・廃棄物関係

（１）本工の施工において生じる発生土の処分については処分先を指定し、その他産業廃棄物の処分については処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。

なお、発生土の処分に関して、受注者の都合により、指定の処分先によることができない場合については、事前に監督員と変更協議をおこなうこと。

（２）建設発生土　【 指定 】

搬出先の名称	処分費	運搬距離	処理施設の所在地等
塚原石産興業㈱	2000円/m3	5.2 km	安曇野市　豊科光2187

（３）特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）　【 参考 】

種　　別		処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等		
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊		再利用	処理工場名	共和リテック㈱	距離　8.9　km
			数　　量	208 (t) ・ m³	
ｺﾝｸﾘｰﾄ塊	無筋 Co	再利用	処理工場名	共和リテック㈱	距離　8.9　km
			数　　量	48 (t) ・ m³	
	鉄筋 Co	再利用	処理工場名		距離　km
			数　　量	t ・ m³	
	二次製品	再利用	処理工場名	共和リテック㈱	距離　8.9　km
			数　　量	43 (t) ・ m³	

建設発生木材		処理工場名		距離		km
		数　　量	t　・　m^3			

（４）産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）　　【 参考 】

種　　別	処分条件	処分先・運搬距離・数量・金額等			
木くず （抜根・伐採材）	再利用	処理工場名		距離	km
		数　　量	t　・　m^3		
汚　　泥		処理工場名		距離	km
		数　　量	t　・　m^3		
その他（金属クズ他）		処理工場名		距離	km
		数　　量	t　・　m^3		

建設工事請負契約書において、処分費・運搬費が上記（３）、（４）に明示した金額より低額の場合は、設計変更の対象とする。

（５）建設副産物の運搬・処理について

ア　建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結すること。

イ　運搬及び処分を業とする許可証を添付すること。

ウ　下請業者が建設副産物を運搬・処分を行う場合、下請契約とは別に運搬・処分に係る委託契約を締結すること。

エ　マニフェストにより適切に運搬・処理されているか確認を行うこと。

オ　受注者が施工計画書に記載若しくは整備すべき事項

・記載事項　　※該当するものを選択する

処理方法※	１再資源化　２破砕処理　３焼却処理　４埋立処分場　５その他			
処　分　先 （業　者）	業　者　名		許可番号	
	住　　所			
運搬委託先 （委託の場合）	業　者　名		許可番号	
	住　　所			
そ　の　他	資源化の方法など			

・添付書類

ア　処理先の許可書の写し及び（収集運搬を委託する場合）収集運搬業者の許可書の写し

イ　受注者と処理又は運搬業者との契約書の写し

ウ　処理業者の所在地及び計画運搬ルート

５　その他

（１）関係機関・自治体等との近接協議

関係機関等	事　項	制約内容	時　　期
安曇野市 学校教育課	小中学校の通学路確認	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
小中学校	関係小中学校の通学路に係る周知。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様
幼稚園・ 認定こども園	バス運行、通園路などの確認。各種行事調整。	上記と同様	上記と同様

安曇野市 文化課	埋蔵文化財	関係機関指導のもと	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
地元区長など	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	区長、隣組長など指導のもと	上記と同様
地元市議会議員	工事内容、工事期間、迂回路などの説明。		契約後即対応のこと。
工事沿線住民	工事内容、工事期間、迂回路などの説明及び調整。	関係者等の指導のもと。（ただし、要求内容が無理難題と判断される場合には、断ることも必要である。また、要求内容については監督員へ報告すること。特に工事金額に係る内容は協議を交わすこと。）	契約後即対応のこと。 また、工期内とする。
工事区間内農地所有者又は管理者及び工事影響範囲の利害関係者など	農地については、工事の進捗及び営農上支障になることの調整。その他利害関係者との調整。	上記と同様	上記と同様
周辺店舗、事業所など	駐車場、案内看板などの調整。	上記と同様	上記と同様
ＮＴＴ	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	関係機関指導のもと	上記と同様
中部電力	電柱、架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
あづみ野テレビ	架空線等の移設調整。また、本工事事への影響確認。	上記と同様	上記と同様
穂高自動車 教習所	教習コースの確認	上記と同様	上記と同様
関係官公庁	本工事事に係ること	上記と同様	上記と同様
その他	状況に応じて対応すること。	上記と同様	苦情については、即対応のこと。要望については、監督員と協議のうえ対応すること。

（２）個別事項

一　品質検査の場所は、別途監督員が指示する場所で行うこと。

二　工事区間は、豊科南小学校の通学路となっているため、歩行者には細心の注意を払い施工を行うこと。

三　創意工夫については、監督員と協議し、実施内容を事前に報告すること。

四　本工事では、現場環境改善に係る経費を当初設計にて計上している。

（一）実施する内容については、安曇野市土木工事共通仕様書 別紙－５の中から原則として各計上費目（仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携）ごとに１内容ずつ（いずれか１費目のみ２内容）、合計５つの内容を選択すること。

選択にあたっては、地域の状況や工事内容等により、実施費目数及び実施内容を変更してもよい。

（二）（一）で選択した実施内容について、実際に現場で実施する内容を『現場環境改善費事例集（長野県建設部）』を参考に記載する。

（三）この経費は率計上されているため、実施する内容が巨額となり、率計上分では行うことが適当ではないと判断される場合は、積上げ計上とする。

積上げ計上分については、事前に監督員と協議すること。

（四）この経費の設計変更については、実費精算等の設計変更は行わない。ただし、対象金額の変動に伴う現場環境改善費率の変更は行う。

（五）受発注者協議により、内容の実施が不要と判断された場合については、費用の全額を減額する。

五　本工事により亡失した境界杭については、必ず復元を行うこと。また、境界復旧後は、監督員に精度管理表を提出すること。

（一）境界復元作業費用は、共通仮設費率（準備費）に含む。

（二）境界杭については、現地の物を再利用し復旧することとし、紛失した場合は請負業者の責任において用意すること。

六　本工事は受注者希望による電子納品の対象工事である。実施の希望にあたっては、工事請負契約締結後に安曇野市土木工事共通仕様書**別紙－２**『実施希望調書』を監督員へ提出し、確認を受けること。

（一）成果品の作成にあたっては長野県『電子納品に係る実施要領』に基づくものとする。

（二）受注者の事情等により、電子納品が困難である場合は、監督員との協議により紙納品とすることができる。

（三）電子納品における書類の作成費用等は共通仮設費率に含まれている。

七　本工事は情報共有システムを利用する対象工事である。

（一）利用にあたっては、長野県『情報共有システム実施要領』によるものとする。

（二）利用するシステムは、『長野県情報共有システム機能仕様書』を満たすものから、受注者が選択し、事前に監督員の承認を得るものとする。

（三）実施内容は以下の項目とし、受発注者間で確認し決定する。

・受発注者間の工事打合せ簿等の受け渡し（書類によっては、紙決裁で行う場合を認める）
・現場状況の共有
・確認・立会依頼
・その他 システムで利用可能な項目

（四）システムの利用料及び登録料は、共通仮設費率（技術管理費）に含まれている。

八　本工事は発注者指定型週休２日工事の対象工事である。「安曇野市週休２日工事実施要領」に従い取り組むものとする。また、工事契約後、週休２日対象期間において、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間が生じる場合は、受発注者間で協議して現場閉所による週休２日の対象外とする作業と期間を決定するものとする。

（参考）「安曇野市週休２日工事実施要領」

九　年度ごとの支払い限度額は、令和６年度40%、令和７年度60%とする。

十　その他疑義がある場合には、必要書類等を添えて監督員と協議すること。

令和６年４月１日適用版

資材単価等について

工事費の積算にあたっては、長野県建設部の「令和6年度実施設計単価表」や積算資料（財団法人経済調査会）及び建設物価（財団法人建設物価調査会）に設定されている単価により予定価格を算出しています。

また、見積もり等による単価は下記のとおりです。

なお、使用した単価は予定価格算出のものであり、特定の製品や民間取引を指定したものではありません。

見積等により決定している設計単価　　（円）

製　品　名	規　格	採用単価	単位	重量(kg)	備　考
自由勾配側溝300×400	45°　コーナー品	13,510	本	171	
自由勾配側溝300×500	45°　コーナー品	15,400	本	195	
ボックスカルバート300×300	T-25　土被り0m対応型	53,640	本	1,500	
ボックスカルバート600×600	T-25　土被り0m対応型	122,180	本	619	
自由勾配側溝用桝	300×300	17,480	枚	103	
自由勾配側溝用桝グレーチング	300用　細目400×395×38	19,970	個	14	
自由勾配側溝用桝受枠	300用　420×420×44	13,710	個	8	
防草ブロック	A種　L=600	4,440	個	87	
基礎ブロック	500×500	21,000	個	260	
ガードポスト	反射テープ含む	12,500	本		
ガードポスト設置手間		11,200	基		
残土処分		2,000	m3		

数　量　集　計　表

工　種	項　目	規　格　等	数　量	設　計	単位	摘　要
道路改良 道路土工 土　工						
	機械掘削		1,219.2	1,200	m3	
	機械埋戻(発生土)	W＜1.0	155.6	160	m3	
	路床盛土(発生土)	W＜2.5	154.1	150	m3	
	路体盛土(発生土)	W＜2.5	18.0	20	m3	
	残土運搬	運搬距離5.2km	855.1	860	m3	
	残土処分	処分先:塚原石産興業㈱	855.1	860	m3	
	基面整生		369.1	370	m2	
取壊し工 AS	舗装版切断	AS舗装　t＝15cm以下	28.8	29	m	
	舗装版破砕	AS舗装　t＝15cm以下	1,806.0	1,810	m2	
	廃材運搬	AS舗装　運搬距離8.9km	90.3	90	m3	
	廃材処分	AS舗装	207.7	208	t	
無筋CO	構造物取壊し	無筋CO	20.4	20	m3	
	廃材運搬	無筋CO　運搬距離8.9km	20.4	20	m3	
	廃材処分	無筋CO	47.9	48	t	
二次製品	②	縦断VS300	60.5	61	m	
	③	縦断VS300×400	16.0	16	m	
	⑨	横断VS300×500	10.0	10	m	
	⑤	ボックスカルバート600×600	18.6	19	m	
	⑩	ボックスカルバート500×300	13.2	13	m	
	⑦	ベンチフリューム300型	13.3	13	m	
	⑯	ベンチフリューム400型	21.0	21	m	
	④	歩車道境界ブロック　一般・乗入	28.2	28	m	
	⑫	門型車止め　L=1.5m	2.0	2	基	
	⑬	車止め　H=1100	4.0	4	基	
	⑭	ラバーポール　H=800	33.0	33	本	
	⑮	VP管　Φ100	4.6	5	m	
	廃材運搬	二次製品　運搬距離8.9km	18.1	18	m3	
	廃材処分	二次製品	42.5	43	t	

工　種	項　目	規　格　等	数　量	設　計	単位	摘　要
擁壁工						
	L型擁壁	H=750	2.0	2	m	
		H=1000	22.1	22	m	
		H=1250　フェンス基礎付	20.0	20	m	
		H=1500　フェンス基礎付	63.8	64	m	
	小型重力式擁壁	H=800	5.4	5	m3	
排水工						
	自由勾配側溝	縦断用300×300	124.1	124	m	
		縦断用300×400	46.7	47	m	
		縦断用300×500	69.4	69	m	
		縦断用300×600	8.4	8	m	
		縦断用500×500	41.7	42	m	
		横断用300×300	12.0	12	m	
		横断用300×400	6.0	6	m	
		横断用300×500	6.0	6	m	
	グレーチング蓋	縦断用　300型	25.0	25	枚	
		縦断用　500型	4.0	4	枚	
		横断用　300型	12.0	12	枚	
	コンクリート蓋	300型	198.0	198	枚	
		500型	34.0	34	枚	
	自由勾配側溝	300×400　45°　コーナー	1.0	1	基	
		300×500　45°　コーナー	1.0	1	基	
	ベンチフリューム	250型	5.0	5	m	
	ベンチフリューム	600型	19.0	19	m	
	ボックスカルバート	300×300	30.3	30	m	
	ボックスカルバート	600×600	44.1	44	m	
小口止め工						
	1型小口止め	300×300	2.0	2	箇所	

工　種	項　目	規　格　等	数　量	設　計	単位	摘　要
集水桝工						
	1型桝	1000×1000×750　CO＝0.53m3	1.0	1	箇所	
	1型グレーチング	1000×1000　細目　T-14	1.0	1	枚	
	2型桝	1000×1000×900　CO＝0.73m3	1.0	1	箇所	
	2型グレーチング	1000×1000　細目　T-14	1.0	1	枚	
	3型桝	600×600×600　CO＝0.38m3	1.0	1	箇所	
	3型グレーチング	600×600　普通目　T-25	1.0	1	枚	
	4型桝	600×600×600　CO＝0.38m3	1.0	1	箇所	
	4型グレーチング	600×600　普通目　T-25	1.0	1	枚	
	5型桝	800×800×840　CO＝0.48m3	1.0	1	箇所	
	5型グレーチング	800×800　細目　T-14	1.0	1	枚	
	現場打ち側溝	600×440	1.1	1	m	
	現場打ち側溝グレーチング	600型用	1.0	1	枚	
	自由勾配側溝桝	300×300×400	1.0	1	基	
	グレーチング	300×300　細目　T-14	1.0	1	枚	
道路付属構造物工						
	歩車道境界ブロック	一般部	230.0	230	m	
		乗入部	123.0	123	m	230+123=353
	地先境界ブロック	B種	132.7	133	m	
転落防止柵工	ガードパイプ	H=1100　CO構造物建込　4段	83.8	84	m	
	車止めポール	基礎500×500込	12.0	12	本	
舗装工						
車道部	不陸整正		2,100.7	2,100	m2	
	下層路盤工	再生クラッシャーラン40　t＝15cm	2,239.7	2,240	m2	
	上層路盤工	粒度調整砕石M-40　t＝15cm	2,239.7	2,240	m2	
	基層工	粗粒度アスコン20　t＝5cm	2,239.7	2,240	m2	
歩道部	不陸整正		506.4	506	m2	
	凍上抑制層	再生クラッシャーラン40　t＝15cm	760.7	761	m2	

土　量　計　算　書

No. 1

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土	掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土		掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土
SP.2 94.61	5.8	0.3	0.0	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
NO.5 100.00	5.9	0.4	0.0	0.0	5.85	0.35	0.00	0.00	5.4	31.6	1.9		
EC.2 109.67	6.4	0.5	0.0	0.0	6.15	0.45	0.00	0.00	9.7	59.7	4.4		
NO.6 120.00	4.6	0.9	0.0	0.0	5.50	0.70	0.00	0.00	10.3	56.7	7.2		
NO.7 140.00	5.7	0.4	0.0	0.0	5.15	0.65	0.00	0.00	20.0	103.0	13.0		
NO.8 160.00	6.2	0.3	0.8	0.2	5.95	0.35	0.40	0.10	20.0	119.0	7.0	8.0	2.0
NO.10 200.00	6.1	1.6	0.8	0.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
NO.11 220.00	4.5	1.0	2.4	0.2	5.30	1.30	1.60	0.20	20.0	106.0	26.0	32.0	4.0
BC.4 222.51	4.5	1.0	2.5	0.2	4.50	1.00	2.45	0.20	2.5	11.3	2.5	6.1	0.5
SP.4 232.31	4.8	1.2	2.9	0.2	4.65	1.10	2.70	0.20	9.8	45.6	10.8	26.5	2.0
NO.12 240.00	4.7	1.3	2.1	0.2	4.75	1.25	2.50	0.20	7.7	36.6	9.6	19.3	1.5
EC.4 242.10	4.7	1.3	2.3	0.2	4.70	1.30	2.20	0.20	2.1	9.9	2.7	4.6	0.4
NO.13 260.00	4.9	1.4	1.0	0.2	4.80	1.35	1.65	0.20	17.9	85.9	24.2	29.5	3.6
NO.14 280.00	4.9	1.7	0.3	0.2	4.90	1.55	0.65	0.20	20.0	98.0	31.0	13.0	4.0
小　計									145.4	763.3	140.3	139.0	18.0

土　量　計　算　書

No. 2

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土	掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土		掘　削	埋戻(W＜1.0)	路床盛土	路体盛土
SNO.1 20.00	4.5	0.2	0.4	0.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
SNO1+7.50 27.50	4.7	0.2	0.3	0.0	4.60	0.20	0.35	0.00	7.5	34.5	1.5	2.6	
SNO.2 40.00	5.2	0.2	0.4	0.0	4.95	0.20	0.35	0.00	12.5	61.9	2.5	4.4	
SNO.3 60.00	5.2	0.4	0.3	0.0	5.20	0.30	0.35	0.00	20.0	104.0	6.0	7.0	
SNO.3+7.00 67.00	6.0	1.1	0.0	0.0	5.60	0.75	0.15	0.00	7.0	39.2	5.3	1.1	
交差点車道部		面積図より 698.6	×	0.4	＝	279.44				279.4			
交差点歩道部		面積図より 234.8	×	0.28	＝	65.74				65.7			
小　計									47.0	584.7	15.3	15.1	
合　計									192.4	1,348.0	155.6	154.1	18.0

土　量　計　算　書

機械掘削	（バックホウ0.80㎥）				1,348.0	－	AS破砕 90.3	－	CO殻 38.5	＝	1,219.2		
機械埋戻し	（バックホウ0.80㎥）		W＜1.0		155.6			×	1/ (締固めによる変化率) 0.90	＝	172.9		
路床盛土(発生土)	（バックホウ0.80㎥）		W＜2.5		154.1			×	1/ (締固めによる変化率) 0.90	＝	171.2		
路体盛土(発生土)	（バックホウ0.80㎥）		W＜2.5		18.0			×	1/ (締固めによる変化率) 0.90	＝	20.0		
残土運搬					1,219.2	―	364.1			＝	855.1		
残土処分										＝	855.1		

基 面 整 正 面 積 計 算 書

測　点	幅		平　均		距　離	面　積		摘　　要
SP.2 94.61	1.2		—		—	—		
NO.5 100.00	1.8		1.50		5.4	8.1		
EC.2 109.67	1.8		1.80		9.7	17.5		
NO.6 120.00	2.3		2.05		10.3	21.1		
NO.7 140.00	1.8		2.05		20.0	41.0		
NO.8 160.00	1.8		1.80		20.0	36.0		
NO.10 200.00	2.1		—		—	—		
NO.11 220.00	2.1		2.10		20.0	42.0		
BC.4 222.51	2.1		2.10		2.5	5.3		
SP.4 232.31	2.1		2.10		9.8	20.6		
NO.12 240.00	2.1		2.10		7.7	16.2		
EC.4 242.10	2.4		2.25		2.1	4.7		
NO.13 260.00	2.7		2.55		17.9	45.6		
NO.14 280.00	2.1		2.40		20.0	48.0		
小　計					145.4	306.1		

基 面 整 正 面 積 計 算 書

測　点	幅		平　均		距　離	面　積		摘　　要
SNO.1 20.00	1.0		—		—	—		
SNO1+7.50 27.50	1.0		1.00		7.5	7.5		
SNO.2 40.00	1.0		1.00		12.5	12.5		
SNO.3 60.00	2.0		1.50		20.0	30.0		
SNO.3+7.00 67.00	1.7		1.85		7.0	13.0		
小 計					47.0	63.0		
合 計					192.4	369.1		

取 壊 し 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等							備　考
取壊し工									
	舗装版切断	アスファルト	t＝5cm	L=	①+②+③+④	＝	28.8	m	平面図参照
	舗装版破砕	アスファルト	t＝5cm	L=			1806.0	m2	
	AS廃材運搬	アスファルト		V=	1806.0×0.05	＝	90.3	m3	
	AS廃材処分	アスファルト		V=	90.3×2.3	＝	207.7	t	
	無筋CO								撤去平面図参照
	①⑥⑧	集水桝		V=	0.06+0.11+0.35	＝	0.5	m3	
	②③⑨	自由勾配側溝	基礎CO	V=	2.63+2.63+0.72	＝	6.0	m3	
	⑤⑩	ボックスカルバート	基礎CO	V=	1.79 + 1.27	＝	3.1	m3	
	④	歩車道境界ブロック	エプロン	V=			2.1	m3	
	⑪	石積擁壁		V=			8.0	m3	
	⑫⑬	車止め	基礎ブロック	V=	0.16 + 0.52	＝	0.7	t	
	構造物取壊し	無　筋		V=			20.4	m3	
	廃材運搬	無　筋					20.4	m3	
	廃材処分	無　筋			20.4 × 2.35	＝	47.9	t	

取 壊 し 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等					備　考
	二次製品						
	②	縦断VS	300×300	L=	60.5	m	V=5.45m3
	③	縦断VS	300×400	L=	16.0	m	V=1.44m3
	⑨	横断VS	300×500	L=	10.0	m	V=1.00m3
	⑤	ボックスカルバート	600×600	L=	18.6	m	V=5.40m3
	⑩	ボックスカルバート	500×300	L=	13.2	m	V=2.77m3
	⑦	ベンチフリューム	300型	L=	13.3	m	V=0.27m3
	⑯	ベンチフリューム	400型	L=	21.0	m	V=0.84m3
	④	歩車道境界ブロック	一般	L=	7.3		V=0.51m3
			乗入	L=	20.9		V=0.42m3
	⑫	門型車止め	L=1.5m	N=	2.0	基	
	⑬	車止め	H=1100	N=	4.0	基	
	⑭	ラバーポール	H=800	N=	33.0	本	
	⑮	VP管	Φ100	L=	4.6	m	
	廃材運搬	二次製品		5.45+1.44+1.00+5.40+2.77+0.27+0.84+0.51+0.42 ＝	18.1	m3	
	廃材処分	二次製品		18.1 × 2.35 ＝	42.5	t	

舗 装 版 破 砕 計 算 書

No. 1

測　点	横　断　幅				平 均 横 断 幅				距　離	面　積			
	舗装版破砕				舗装版破砕					舗装版破砕			
SP.2 94.61	4.80				—				—	—			
NO.5 100.00	5.00				4.90				5.4	26.5			
EC.2 109.67	3.80				4.40				9.7	42.7			
NO.6 120.00	3.90				3.85				10.3	39.7			
NO.7 140.00	3.90				3.90				20.0	78.0			
NO.8 160.00	3.90				3.90				20.0	78.0			
NO.10 200.00	5.50				—				—	—			
NO.11 220.00	5.30				5.40				20.0	108.0			
BC.4 222.51	5.40				5.35				2.5	13.4			
SP.4 232.31	6.00				5.70				9.8	55.9			
NO.12 240.00	5.50				5.75				7.7	44.3			
EC.4 242.10	5.60				5.55				2.1	11.7			
NO.13 260.00	5.80				5.70				17.9	102.0			
NO.14 280.00	5.70				5.75				20.0	115.0			
小　計									145.4	715.2			

舗 装 版 破 砕 計 算 書

No. 2

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	舗装版破砕				舗装版破砕					舗装版舗装			
SNO.1 20.00	9.60				—				—	—			
SNO1+7.50 27.50	9.60				9.60				7.5	72.0			
SNO.2 40.00	5.20				7.40				12.5	92.5			
SNO.3 60.00	4.90				5.05				20.0	101.0			
SNO.3+7.00 67.00	9.00				6.95				7.0	48.7			
交差点部		交差点部面積図参照								776.6			
小　計									47.0	1,090.8			
合　計									192.4	1,806.0			

擁 壁 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等									備　考
擁壁工											
	L型擁壁	H＝750		L=					2.0	m	擁壁工展開図参照
	L型擁壁	H＝1000		L=					22.1	m	
	L型擁壁	H＝1250	フェンス基礎付	L=	8.00	+	12.00	＝	20.0	m	
	L型擁壁	H＝1500	フェンス基礎付	L=	36.23	+	27.54	＝	63.8	m	
	小型重力式擁壁	H=800		V=	0.248	×	21.6	＝	5.4	m3	

排 水 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等							備　考
排水工									
縦断用	自由勾配側溝	標準用300×300		L=(	104.24	～	131.67) =	27.4	m 排水構造物展開図1
				L=(	137.67	～	172.70) =	35.0	m
				L=(	96.22	～	133.06) =	36.8	m
				L=(	139.19	～	157.95) =	18.8	m
				L=				4.0	m
				L=				1.6	m 排水構造物展開図2
				合計	123.60	+	VS桝 0.45 =	124.1	m
縦断用	自由勾配側溝	標準用300×400		L=				20.0	m 排水構造物展開図1
				L=(	5.50	+	11.17) =	16.7	m 排水構造物展開図2
				L=				10.0	m 排水構造物展開図3
				合計				46.7	m
縦断用	自由勾配側溝	標準用300×500		L=(	8.00+36.98+8.34		) =	53.3	m 排水構造物展開図1
				L=				14.0	m 排水構造物展開図2
				L=				2.1	m 排水構造物展開図3
				合計				69.4	m

排 水 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等					備　考
縦断用	自由勾配側溝	標準用300×600		L=		5.0	m　排水構造物展開図1
				L=		3.4	m　排水構造物展開図2
				合計		8.4	m
縦断用	自由勾配側溝	標準用500×500		L=		41.7	m　排水構造物展開図2
横断用	自由勾配側溝	300×300		L=(6.00	+ 6.00)=	12.0	m　排水構造物展開図1
		300×400		L=		6.0	m　排水構造物展開図2
		300×500		L=		6.0	m
縦断用	自由勾配側溝	300型		合計		248.6	m
		500型		合計		41.7	m
横断用	自由勾配側溝	300型		合計		24.0	m
	グレーチング蓋	300型・縦断用		n＝	248.1/10 ＝	25.0	枚
		500型・縦断用		n＝	41.7/10 ＝	4.0	枚
		300型・横断用		n＝	24.0/2 ＝	12.0	枚
	コンクリート蓋	300型		n＝	(248.1/2-25)×2 ＝	198.0	枚
		500型		n＝	(41.7/2-4)×2 ＝	34.0	枚

排 水 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等					備　考
	自由勾配側溝	300×400	45°コーナー	L=	1.0	基	排水構造物展開図3
		300×500	45°コーナー	L=	1.0	基	
	ベンチフリューム	250型		L=	5.0	m	平面図参照
	ベンチフリューム	600型		L=	19.0	m	排水構造物展開図2
	ボックスカルバート	300×300		L=	6.3	m	排水構造物展開図3
				L=	24.0	m	
				合計	30.3	m	
	ボックスカルバート	600×600		L=	14.1	m	排水構造物展開図2
				L=	30.0	m	排水構造物展開図3
				合計	44.1	m	
小口止め工	小口止め	300×300		n＝	2.0	箇所	排水構造物展開図1

排 水 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等				備　考
集水桝工	1型桝	1000×1000×750	CO＝0.53m3	n＝	1.0	箇所　桝展開図1・2
	グレーチング	1000×1000	細目　T-14	n＝	1.0	枚
	2型桝	1000×1000×900	CO＝0.73m3	n＝	1.0	箇所
	グレーチング	1000×1000	細目　T-14	n＝	1.0	枚
	3型桝	600×600×600	CO＝0.38m3	n＝	1.0	箇所
	グレーチング	600×600	普通目　T-25	n＝	1.0	枚
	4型桝	600×600×600	CO＝0.38m3	n＝	1.0	箇所
	グレーチング	600×600	普通目　T-25	n＝	1.0	枚
	5型桝	800×800×840	CO＝0.48m3	n＝	1.0	箇所
	グレーチング	800×800	細目　T-14	n＝	1.0	枚
	現場打ち側溝	600×440		L＝	1.1	m
	現場打ち側溝グレーチング	600型用		n＝	1.0	枚
	自由勾配側溝桝	300×300×400		n＝	1.0	箇所
	グレーチング	300×300	細目　T-14	n＝	1.0	枚

道 路 付 属 構 造 物 数 量 計 算 書

名　称	品　種	形状・寸法等						備　考
道路付属構造物工	歩車道境界ブロック	防草タイプ	一般部	L=(18.00+12.00+7.09+3.91) =	41.0	m		付属構造物展開図1 西側　左
			乗入部	L=(4.11+16.03+7.80+7.24+4.32) =	39.5	m		
			一般部	L=(20.5 + 18.0) =	38.5	m		西側　右
			乗入部	L=(15.85+7.20+13.40) =	36.5	m		
			乗入部	L=	10.1	m		東側　右
			一般部	L=	73.4	m		付属構造物展開図2 東側　左
			乗入部	L=(20.05 + 9.60) =	29.7	m		
			一般部	L=(12.88 + 19.68) =	32.6	m		南側　左
			乗入部	L=	7.2	m		
			一般部	L=	44.5	m		南側　右
	歩車道境界ブロック	防草タイプ	一般部	合計 41.0+20.5+18.0+73.4+32.6+44.5 =	230.0	m		
	歩車道境界ブロック	防草タイプ	乗入部	合計 39.5+23.1+13.4+10.1+29.7+7.2 =	123.0	m		
	地先境界ブロック	B種		L= 8.55+7.96+21.16+10.87 =	48.5	m		付属構造物展開図3 西側　右
				L= 39.00+24.79 =	63.8	m		西側　左
				L= =	20.4	m		擁壁工展開図
				合計 =	132.7	m		

道 路 付 属 構 造 物 数 量 計 算 書

名　　称	品　　種	形状・寸法等				備　　考
道路付属構造物工						
転落防止柵設置	ガードパイプ	コンクリート建込用	H=1100	L=	＝ 83.8 m	平面図参照
車止めポール	基礎500×500込			N=	12.0 本	

舗　装　計　算　書（本線車道部）

No. 1

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	不陸整正	舗装工			不陸整正	舗装工				不陸整正	舗装工		
SP.2 94.61	5.30	6.20			—	—			—	—	—		
NO.5 100.00	5.30	6.20			5.30	6.20			5.4	28.6	33.5		
EC.2 109.67	5.60	6.50			5.45	6.35			9.7	52.9	61.6		
NO.6 120.00	6.30	7.10			5.95	6.80			10.3	61.3	70.0		
NO.7 140.00	7.30	8.20			6.80	7.65			20.0	136.0	153.0		
NO.8 160.00	7.30	8.20			7.30	8.20			20.0	146.0	164.0		
NO.10 200.00	8.20	8.70			—	—			—	—	—		
NO.11 220.00	7.40	8.70			7.80	8.70			20.0	156.0	174.0		
BC.4 222.51	7.20	8.70			7.30	8.70			2.5	18.3	21.8		
SP.4 232.31	6.50	8.70			6.85	8.70			9.8	67.1	85.3		
NO.12 240.00	6.70	8.00			6.60	8.35			7.7	50.8	64.3		
EC.4 242.10	6.70	7.90			6.70	7.95			2.1	14.1	16.7		
NO.13 260.00	5.80	6.60			6.25	7.25			17.9	111.9	129.8		
NO.14 280.00	5.30	5.30			5.55	5.95			20.0	111.0	119.0		
合　計									145.4	954.0	1,093.0		

舗　装　計　算　書（本線車道部）

No. 2

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	不陸整正	舗装工			不陸整正	舗装工				不陸整正	舗装工		
SNO.1 20.00	9.60	9.60			—	—			—	—	—		
SNO.1+7.50 27.50	9.60	9.60			9.60	9.60			7.5	72.0	72.0		
SNO.2 40.00	9.60	9.60			9.60	9.60			12.5	120.0	120.0		
SNO.3 60.00	9.60	9.60			9.60	9.60			20.0	192.0	192.0		
SNO.3+7.00 67.00	8.70	8.70			9.15	9.15			7.0	64.1	64.1		
交差点部		交差点部面積図参照								698.6	698.6		
小　計									47.0	1,146.7	1,146.7		
合　計									192.4	2,100.7	2,239.7		

舗　装　計　算　書（歩道部）

No. 1

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	不陸整正	舗装工			不陸整正	舗装工				不陸整正	舗装工		
SP.2 94.61	4.10	4.30			—	—			—	—	—		
NO.5 100.00	4.10	4.30			4.10	4.30			5.4	22.1	23.2		
EC.2 109.67	4.10	4.30			4.10	4.30			9.7	39.8	41.7		
NO.6 120.00	3.20	4.30			3.65	4.30			10.3	37.6	44.3		
NO.7 140.00	4.10	4.30			3.65	4.30			20.0	73.0	86.0		
NO.8 160.00	4.10	4.30			4.10	4.30			20.0	82.0	86.0		
NO.10 200.00	0.30	2.20			—	—			—	—	—		
NO.11 220.00	0.00	2.10			0.15	2.15			20.0	3.0	43.0		
BC.4 222.51	0.00	2.10			0.00	2.10			2.5		5.3		
SP.4 232.31	0.00	2.10			0.00	2.10			9.8		20.6		
NO.12 240.00	0.00	2.10			0.00	2.10			7.7		16.2		
EC.4 242.10	0.00	2.10			0.00	2.10			2.1		4.4		
NO.13 260.00	0.00	2.10			0.00	2.10			17.9		37.6		
NO.14 280.00	0.40	2.10			0.20	2.10			20.0	4.0	42.0		
合　計									145.4	261.5	450.3		

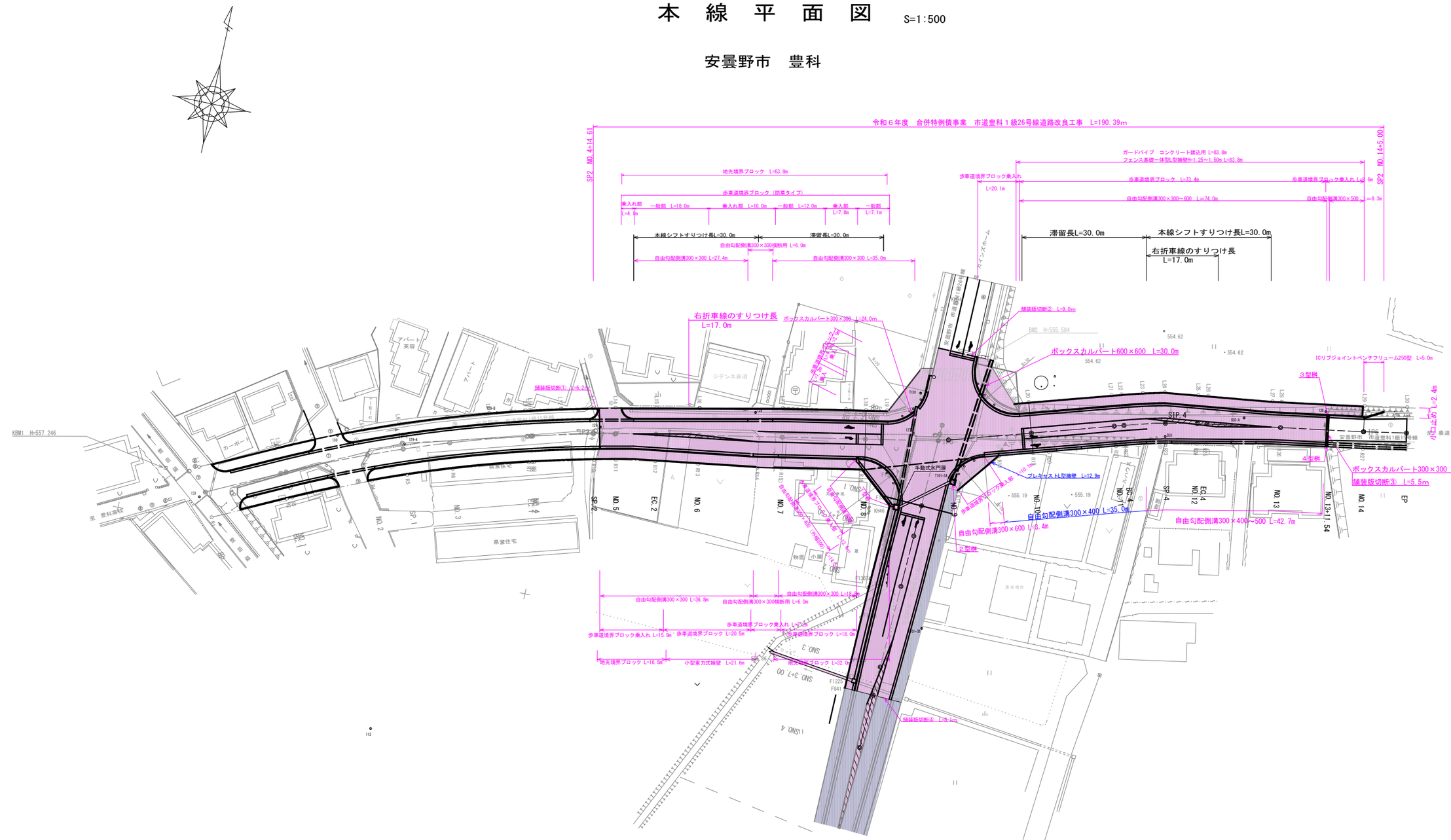
舗　装　計　算　書（歩道部）

No. 2

測　点	横断面積				平均横断面積				距　離	体積			
	不陸整正	舗装工			不陸整正	舗装工				不陸整正	舗装工		
SNO.1 20.00	0.70	1.60			—	—			—	—	—		
SNO.1+7.50 27.50	0.70	1.60			0.70	1.60			7.5	5.3	12.0		
SNO.2 40.00	0.00	1.60			0.35	1.60			12.5	4.4	20.0		
SNO.3 60.00	0.00	1.60			0.00	1.60			20.0		32.0		
SNO.3+7.00 67.00	0.10	1.70			0.05	1.65			7.0	0.4	11.6		
交差点部		交差点部面積図参照								234.8	234.8		
小　計									47.0	244.9	310.4		
合　計									192.4	506.4	760.7		

本　線　平　面　図　S=1:500

安曇野市　豊科



1	IP1
IA =	10-44-28
R =	320
TL =	30.083
CL =	59.990
SL =	1.411

2	IP2
IA =	4-32-27
R =	380
TL =	15.066
CL =	30.117
SL =	0.299

3	IP3
IA=	6-07-56

4	SIP.4
IA =	7-36-43
R =	150
TL =	9.979
CL =	19.928
SL =	0.332

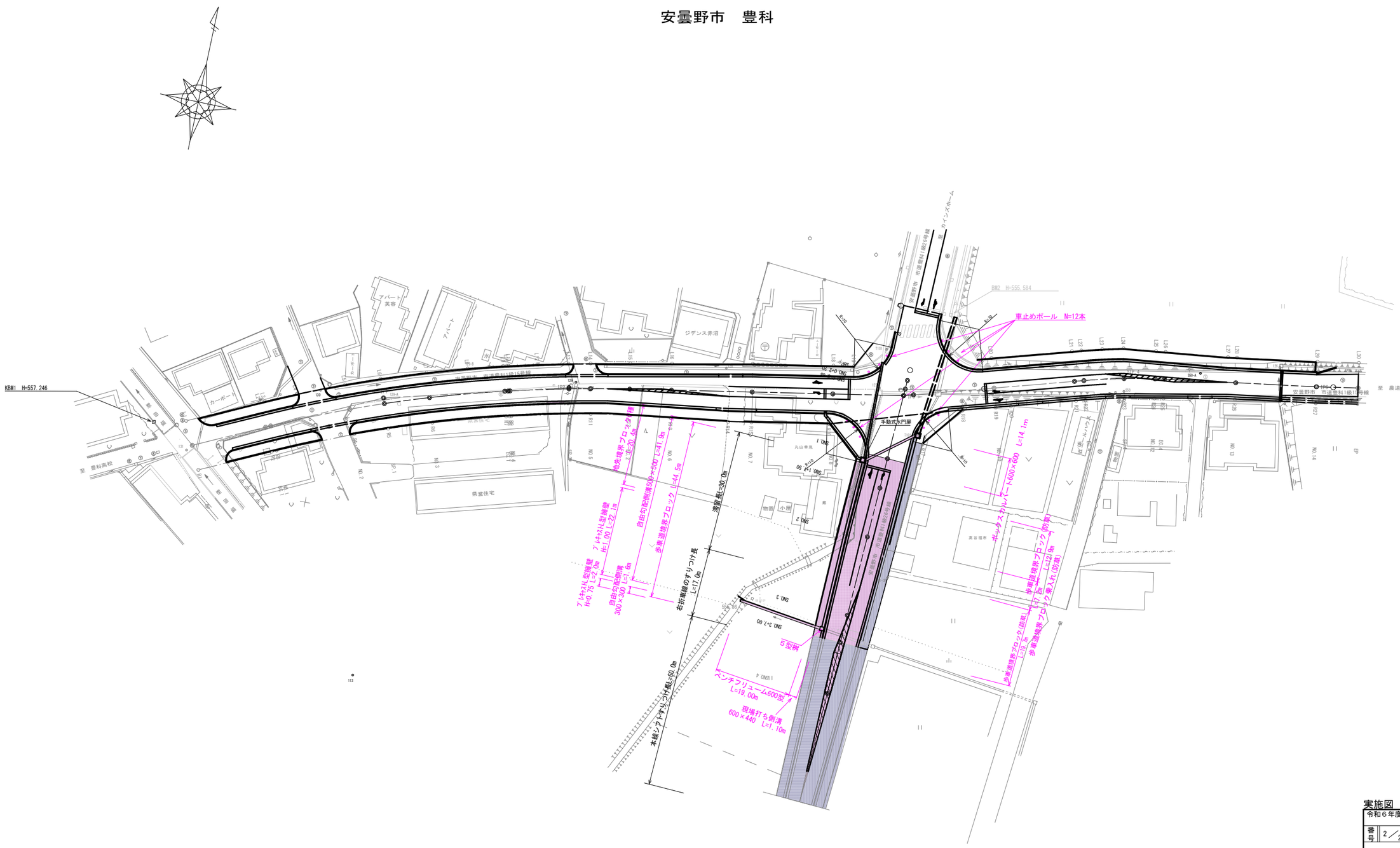
6	IP6
IA=	1-10-17

実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	1／21	本線平面図	縮尺	図示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

支　線　平　面　図　S=1:500

安曇野市　豊科

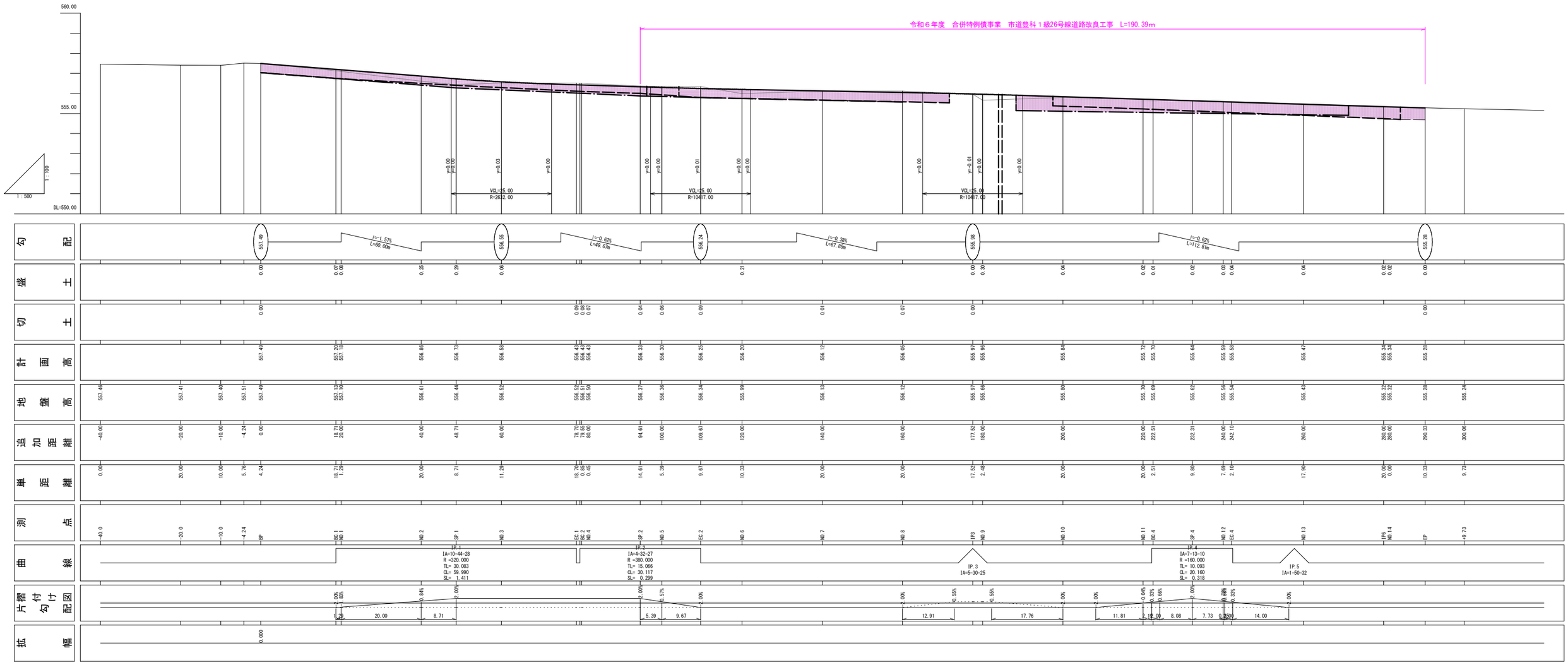


実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	2／21	支線平面図	縮尺	図　示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

本 線 縦 断 図

縦　1：100
横　1：500

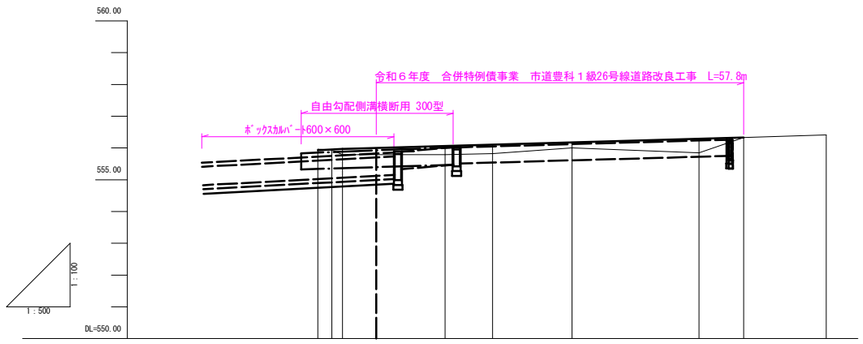


実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	3／21	本 線 縦 断 図	縮尺	図 示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安 曇 野 市 役 所				

支 線 縦 断 図

縦　１：１００
横　１：５００



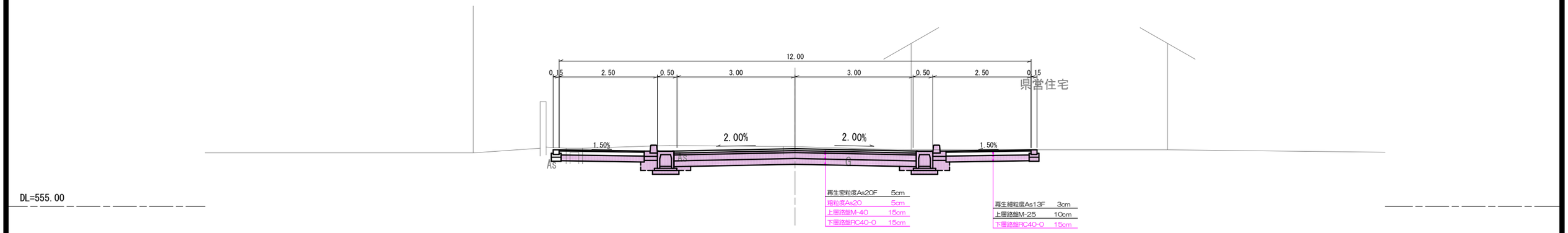
勾配	555.60	555.97	i=0.57% L=63.12m	556.33
盛土	0.01	0.18	0.27	0.28	0.18	0.44	0.00
切土	0.03	0.00
計画高	555.93	555.95	555.97	556.06	556.10	556.18	556.29	556.33
地盤高	555.96	555.94	555.79	555.79	555.82	556.00	555.85	556.33	556.41
追加距離	0.00	2.20	3.88	20.00	27.50	40.00	60.00	67.00	80.00
単距離	0.00	2.20	1.68	16.12	7.50	12.50	20.00	7.00	13.00
測点	SBP	SN0.0+2.20	SN0.0+3.88	SN0.1	SN0.1+7.50	SN0.2	SN0.3	SN0.3+7.00	SN0.4
曲線									
片摺付勾配図									
拡幅									

実施図

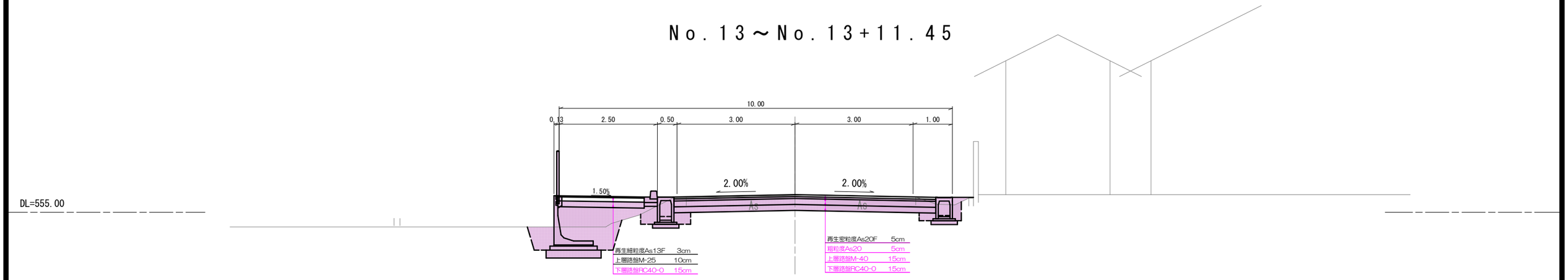
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	4／21	支線縦断図	縮尺	図示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安曇野市役所				

標　準　横　断　図　縦　1：100

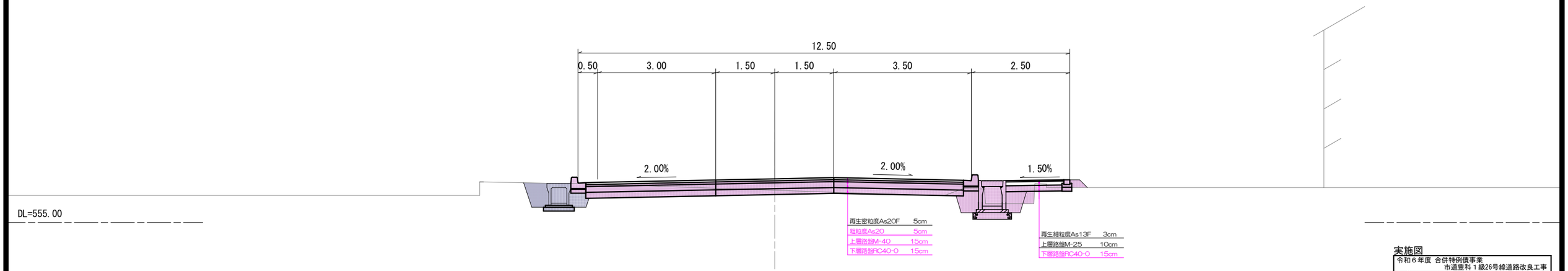
SP2～EC2



No.13～No.13+11.45



SNO.1～SNO.2



実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	5／21	標準断面図	縮尺 図示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安　曇　野　市　役　所			

本　線　横　断　図　1

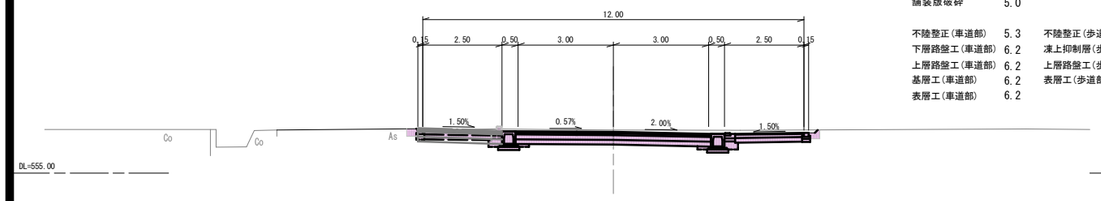
縮尺　1：100

NO.5 (100.00)

GH=556.36
FH=556.30

床掘	5.9
埋戻し	0.4
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	1.8
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.0

不陸整正(車道部)	5.3	不陸整正(歩道部)	4.1
下層路盤工(車道部)	6.2	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	6.2	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	6.2	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	6.2		

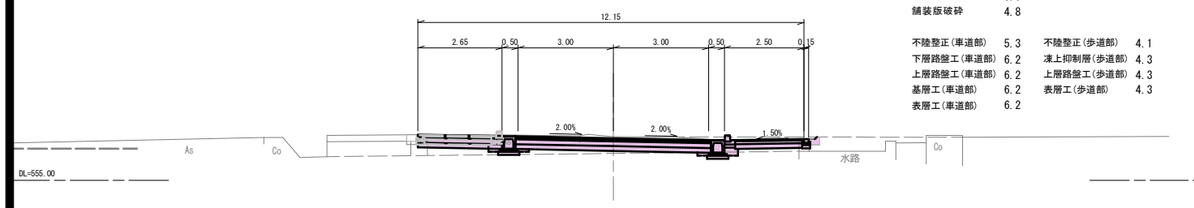


SP.2 (94.61)

GH=556.37
FH=556.33

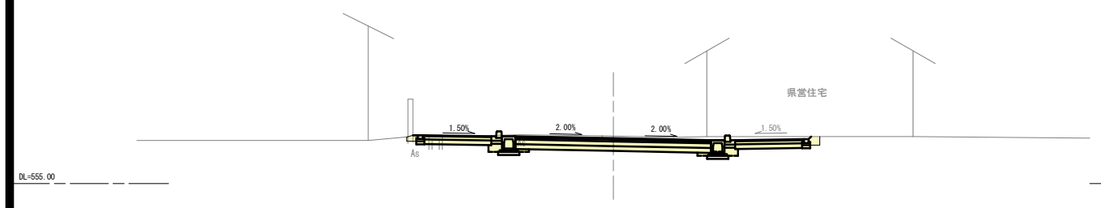
床掘	5.8
埋戻し	0.3
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	1.2
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	4.8

不陸整正(車道部)	5.3	不陸整正(歩道部)	4.1
下層路盤工(車道部)	6.2	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	6.2	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	6.2	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	6.2		



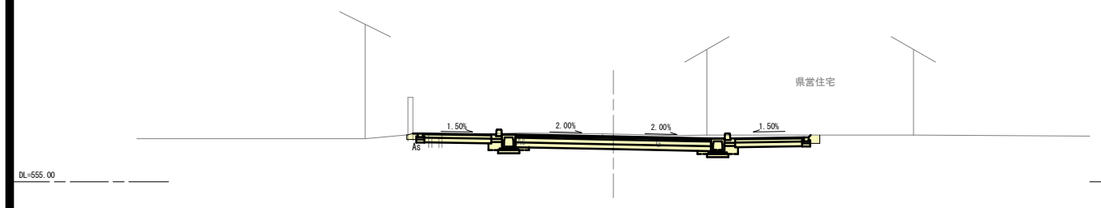
NO.4

GH=556.50
FH=556.43



BC.2

GH=556.51
FH=556.43

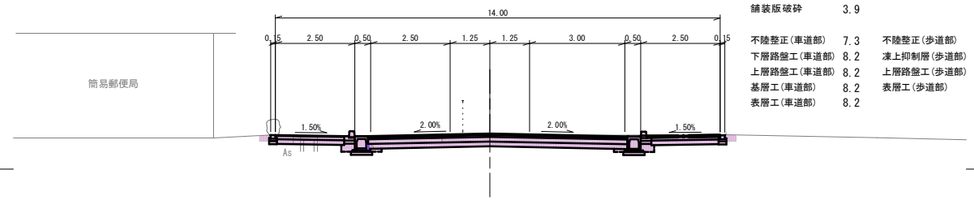


NO.7 (140.00)

GH=556.13
FH=556.12

床掘	5.7
埋戻し	0.4
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	1.8
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	3.9

不陸整正(車道部)	7.3	不陸整正(歩道部)	4.1
下層路盤工(車道部)	8.2	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	8.2	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	8.2	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	8.2		

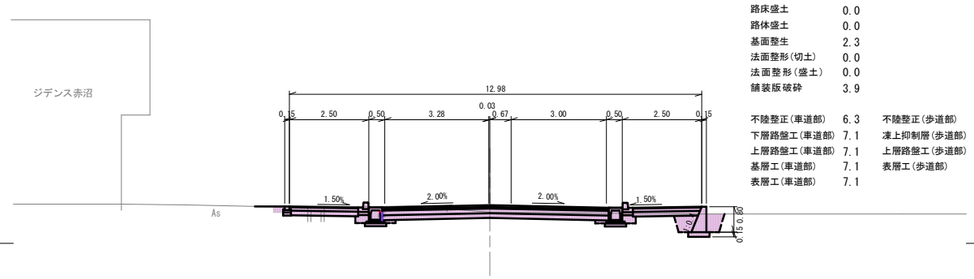


NO.6 (120.00)

GH=555.99
FH=556.20

床掘	4.6
埋戻し	0.9
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	2.3
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	3.9

不陸整正(車道部)	6.3	不陸整正(歩道部)	3.2
下層路盤工(車道部)	7.1	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	7.1	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	7.1	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	7.1		

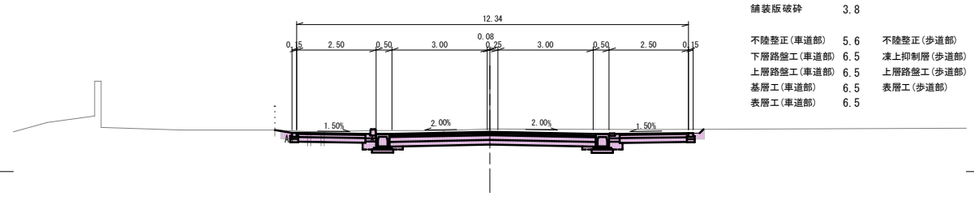


EC.2 (109.67)

GH=556.34
FH=556.25

床掘	6.4
埋戻し	0.5
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	1.8
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	3.8

不陸整正(車道部)	5.6	不陸整正(歩道部)	4.1
下層路盤工(車道部)	6.5	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	6.5	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	6.5	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	6.5		



実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	6／21	本線横断図１	縮尺	図　示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

本 線 横 断 図 2

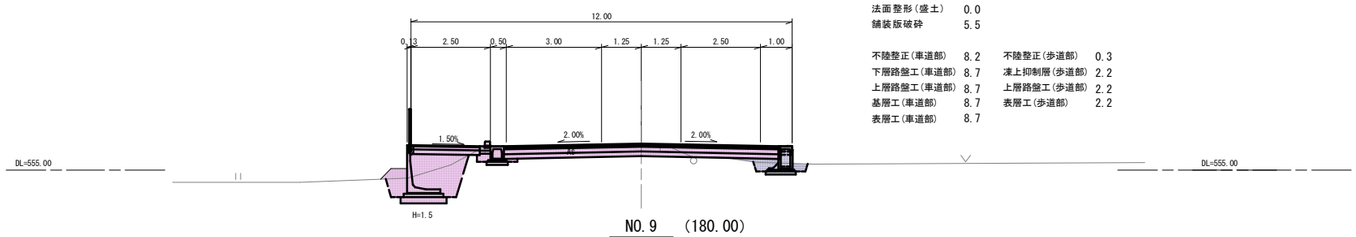
縮尺 1：100

NO.10 (200.00)

GH=555.80
FH=555.84

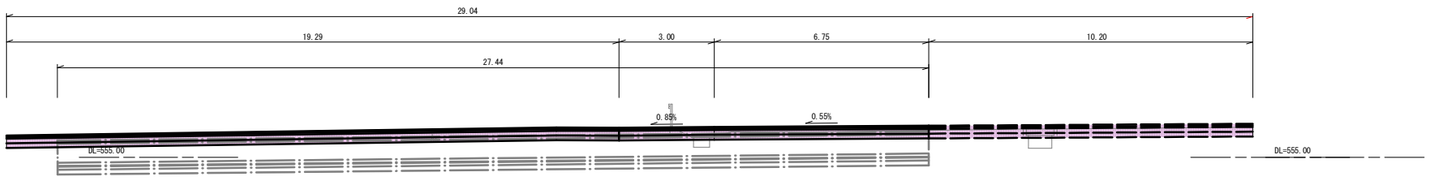
床掘	6.1
埋戻し	1.6
路床盛土	0.8
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.5

不陸整正(車道部)	8.2	不陸整正(歩道部)	0.3
下層路盤工(車道部)	8.7	凍上抑制層(歩道部)	2.2
上層路盤工(車道部)	8.7	上層路盤工(歩道部)	2.2
基層工(車道部)	8.7	表層工(歩道部)	2.2
表層工(車道部)	8.7		



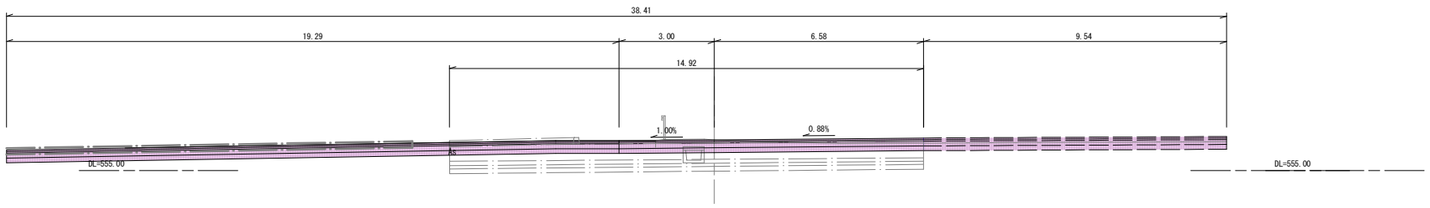
NO.9 (180.00)

GH=555.66
FH=555.96



IP3 (177.52)

GH=555.97
FH=555.97

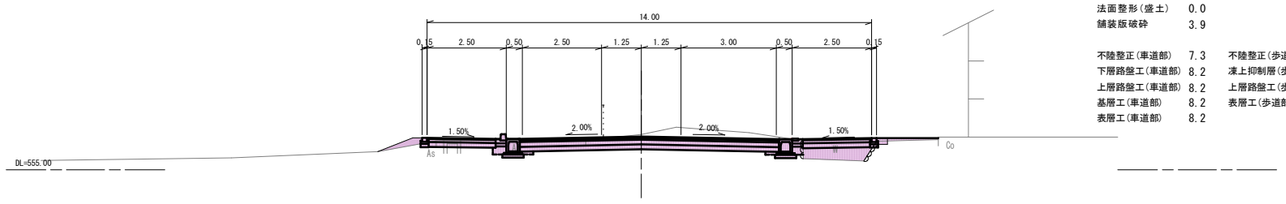


NO.8 (160.00)

GH=556.12
FH=556.05

床掘	6.2
埋戻し	0.3
路床盛土	0.8
路体盛土	0.2
基面整生	1.8
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	3.9

不陸整正(車道部)	7.3	不陸整正(歩道部)	4.1
下層路盤工(車道部)	8.2	凍上抑制層(歩道部)	4.3
上層路盤工(車道部)	8.2	上層路盤工(歩道部)	4.3
基層工(車道部)	8.2	表層工(歩道部)	4.3
表層工(車道部)	8.2		

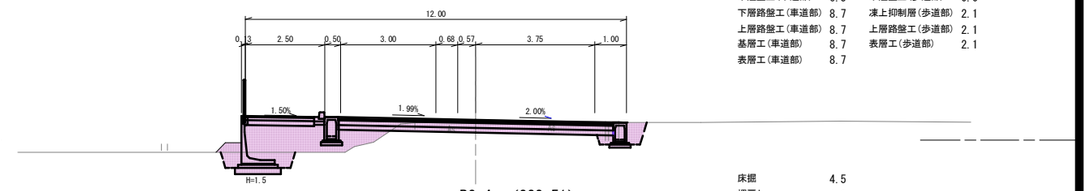


SP.4 (232.31)

GH=555.62
FH=555.64

床掘	4.8
埋戻し	1.2
路床盛土	2.9
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	6.0

不陸整正(車道部)	6.5	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	8.7	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	8.7	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	8.7	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	8.7		

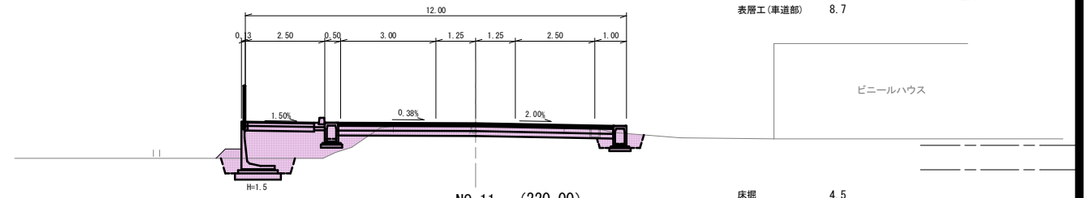


BC.4 (222.51)

GH=555.69
FH=555.70

床掘	4.5
埋戻し	1.0
路床盛土	2.5
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.4

不陸整正(車道部)	7.2	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	8.7	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	8.7	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	8.7	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	8.7		

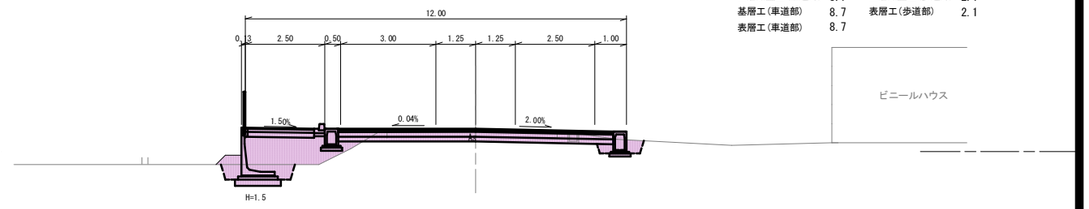


NO.11 (220.00)

GH=555.70
FH=555.72

床掘	4.5
埋戻し	1.0
路床盛土	2.4
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.3

不陸整正(車道部)	7.4	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	8.7	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	8.7	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	8.7	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	8.7		



実施図

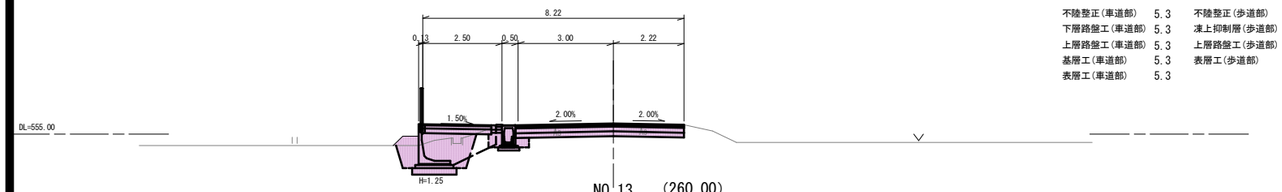
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	7／21	本線横断図２	縮尺	図 示
安曇野市 豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安 曇 野 市 役 所				

本　線　横　断　図　3

縮尺　1：100

NO.14 (280.00)

GH=555.32
FH=555.34

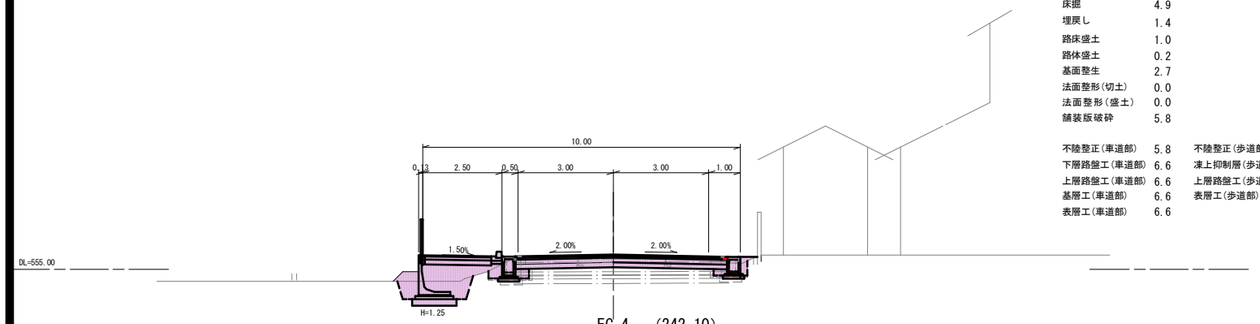


床掘	4.9
埋戻し	1.7
路床盛土	0.3
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.7

不陸整正(車道部)	5.3	不陸整正(歩道部)	0.4
下層路盤工(車道部)	5.3	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	5.3	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	5.3	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	5.3		

NO.13 (260.00)

GH=555.43
FH=555.47

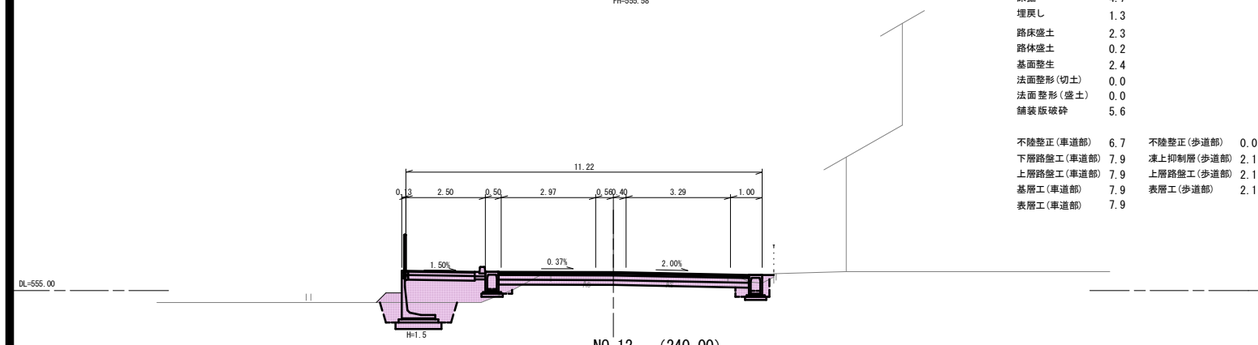


床掘	4.9
埋戻し	1.4
路床盛土	1.0
路体盛土	0.2
基面整生	2.7
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.8

不陸整正(車道部)	5.8	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	6.6	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	6.6	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	6.6	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	6.6		

EC.4 (242.10)

GH=555.54
FH=555.58

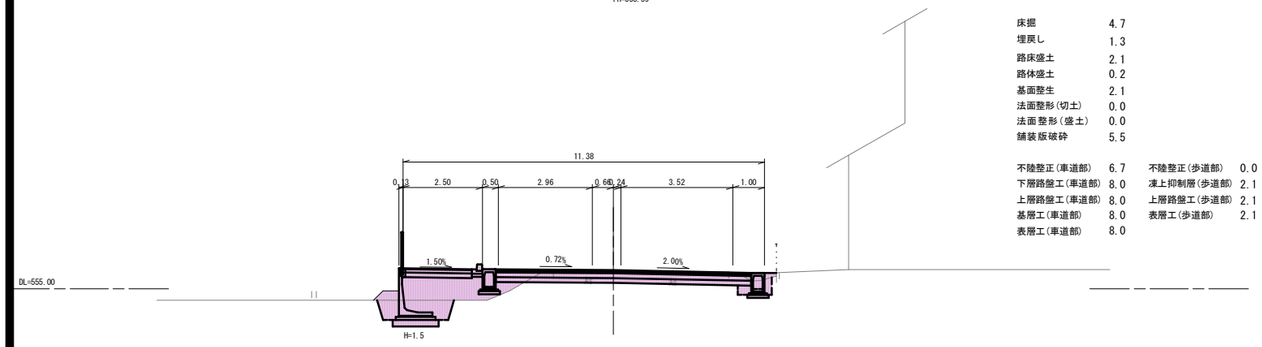


床掘	4.7
埋戻し	1.3
路床盛土	2.3
路体盛土	0.2
基面整生	2.4
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.6

不陸整正(車道部)	6.7	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	7.9	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	7.9	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	7.9	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	7.9		

NO.12 (240.00)

GH=555.56
FH=555.59

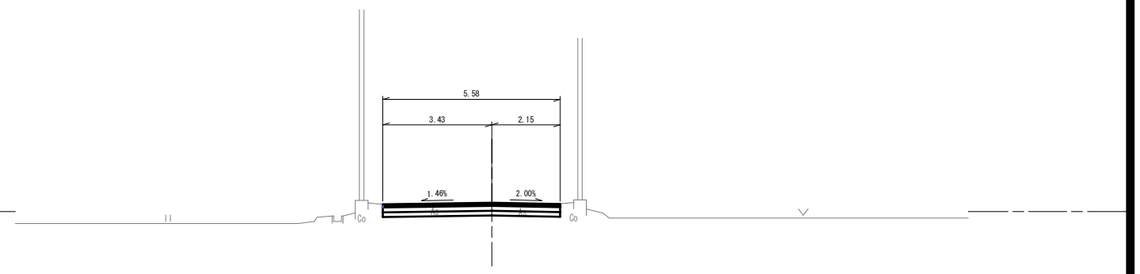


床掘	4.7
埋戻し	1.3
路床盛土	2.1
路体盛土	0.2
基面整生	2.1
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.5

不陸整正(車道部)	6.7	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	8.0	凍上抑制層(歩道部)	2.1
上層路盤工(車道部)	8.0	上層路盤工(歩道部)	2.1
基層工(車道部)	8.0	表層工(歩道部)	2.1
表層工(車道部)	8.0		

EP

GH=555.28
FH=555.28



実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	8／21	本線横断図３	縮尺	図　示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安　曇　野　市　役　所			

支　線　横　断　図

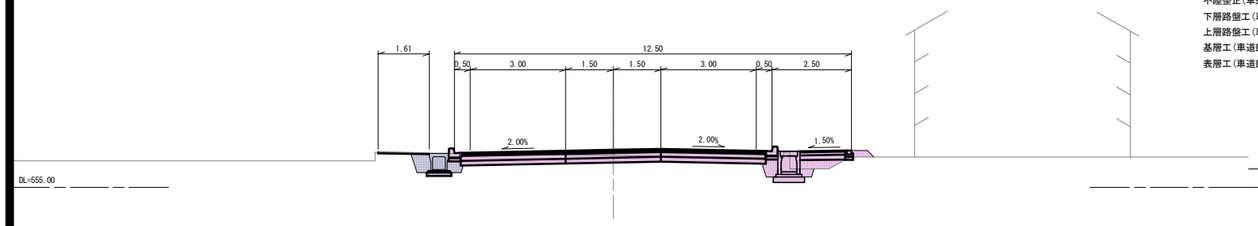
縮尺　１：１００

SNO.2

GH=556.00
FH=556.18

床掘	5.2
埋戻し	0.2
路床盛土	0.4
路体盛土	0.0
基面整生	1.0
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	5.2

不陸整正(車道部)	9.6	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	9.6	凍上抑制層(歩道部)	1.6
上層路盤工(車道部)	9.6	上層路盤工(歩道部)	1.6
基層工(車道部)	9.6	表層工(歩道部)	1.6
表層工(車道部)	9.6		

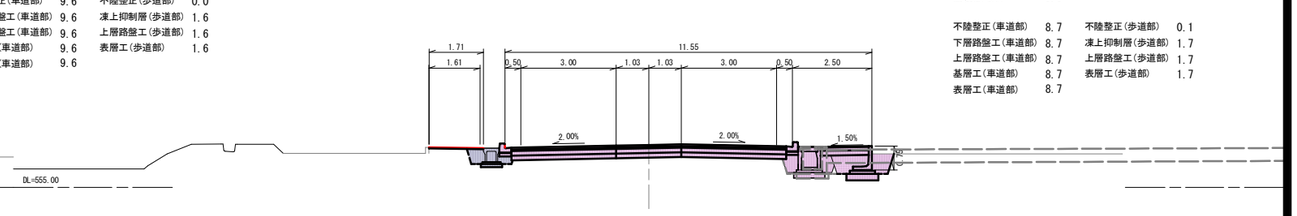


SNO.3+7.00

GH=556.33
FH=556.33

床掘	6.0
埋戻し	1.1
路床盛土	0.0
路体盛土	0.0
基面整生	1.7
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	9.0

不陸整正(車道部)	8.7	不陸整正(歩道部)	0.1
下層路盤工(車道部)	8.7	凍上抑制層(歩道部)	1.7
上層路盤工(車道部)	8.7	上層路盤工(歩道部)	1.7
基層工(車道部)	8.7	表層工(歩道部)	1.7
表層工(車道部)	8.7		

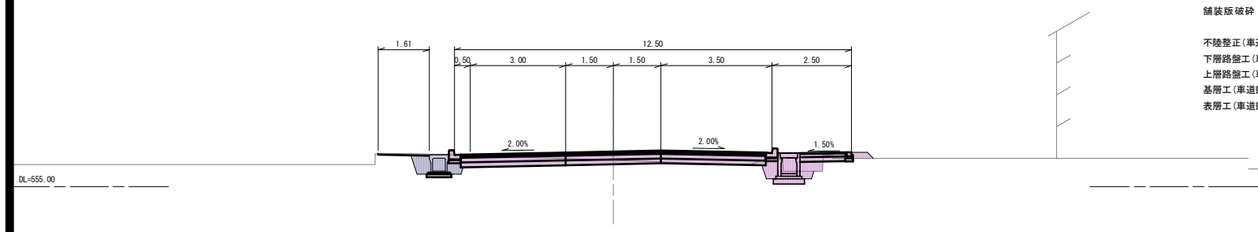


SNO.1+7.50

GH=555.82
FH=556.10

床掘	4.7
埋戻し	0.2
路床盛土	0.3
路体盛土	0.0
基面整生	1.0
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	9.6

不陸整正(車道部)	9.6	不陸整正(歩道部)	0.7
下層路盤工(車道部)	9.6	凍上抑制層(歩道部)	1.6
上層路盤工(車道部)	9.6	上層路盤工(歩道部)	1.6
基層工(車道部)	9.6	表層工(歩道部)	1.6
表層工(車道部)	9.6		

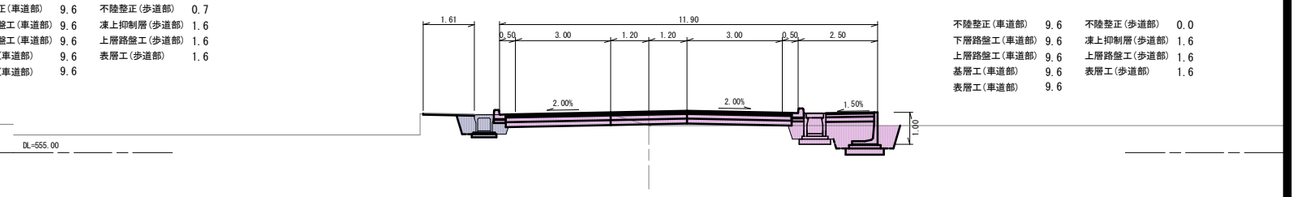


SNO.3

GH=555.85
FH=556.29

床掘	5.2
埋戻し	0.4
路床盛土	0.3
路体盛土	0.0
基面整生	2.0
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	4.9

不陸整正(車道部)	9.6	不陸整正(歩道部)	0.0
下層路盤工(車道部)	9.6	凍上抑制層(歩道部)	1.6
上層路盤工(車道部)	9.6	上層路盤工(歩道部)	1.6
基層工(車道部)	9.6	表層工(歩道部)	1.6
表層工(車道部)	9.6		

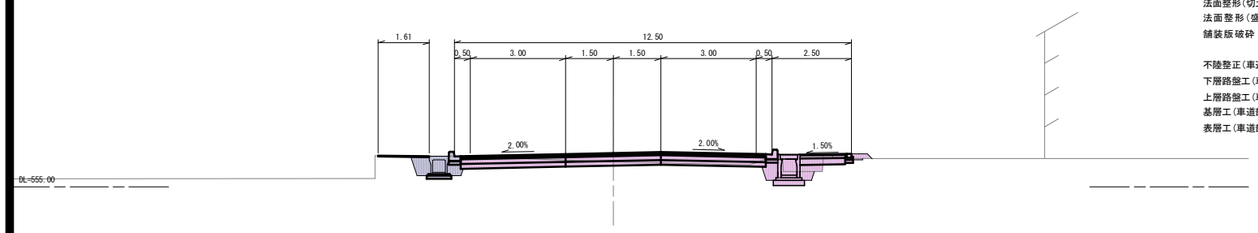


SNO.1

GH=555.79
FH=556.06

床掘	4.5
埋戻し	0.2
路床盛土	0.4
路体盛土	0.0
基面整生	1.0
法面整形(切土)	0.0
法面整形(盛土)	0.0
舗装版破砕	9.6

不陸整正(車道部)	9.6	不陸整正(歩道部)	0.7
下層路盤工(車道部)	9.6	凍上抑制層(歩道部)	1.6
上層路盤工(車道部)	9.6	上層路盤工(歩道部)	1.6
基層工(車道部)	9.6	表層工(歩道部)	1.6
表層工(車道部)	9.6		



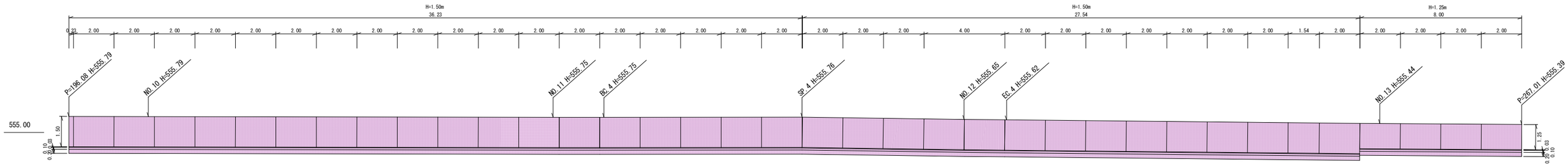
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	9／21	支線横断図	縮尺	図 示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

擁壁工展開図　縮尺　１：１００

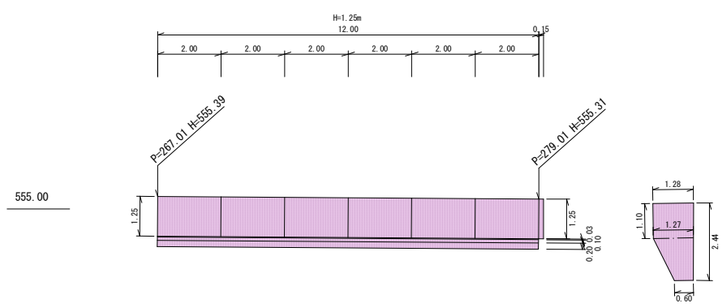
フェンス基礎一体型Ｌ型擁壁　東側　左

断面

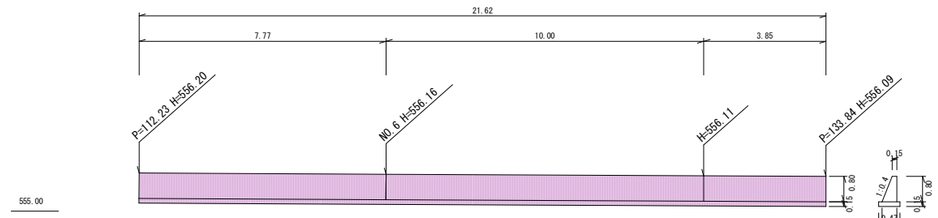


小型重力式擁壁　西側　右

断面

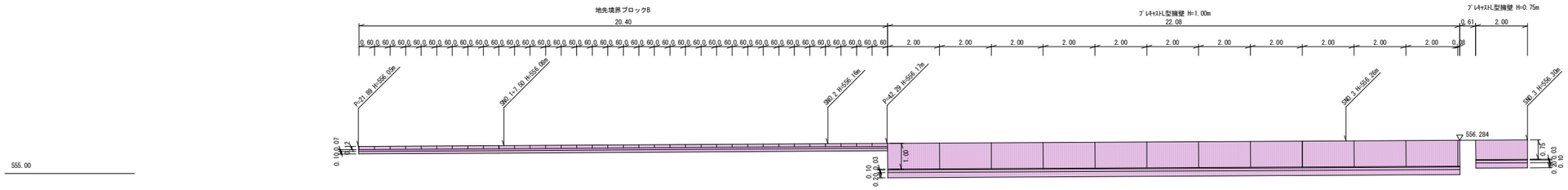


断面



地先境界ブロック・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁　南側　右

断面



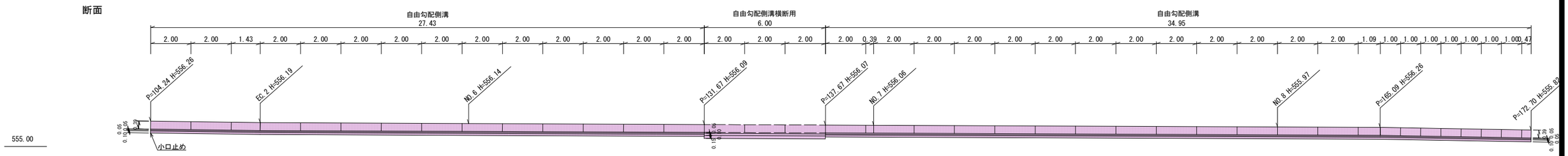
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	10／21	擁壁工展開図	縮尺　図 示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

排水構造物展開図１　縮尺　１：１００

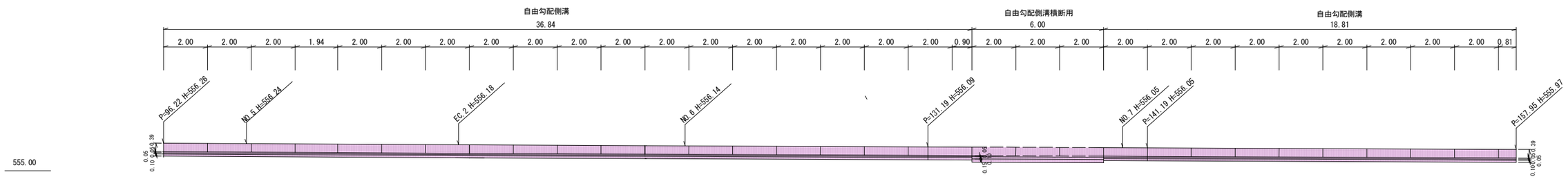
自由勾配側溝300×300西側　左

断面



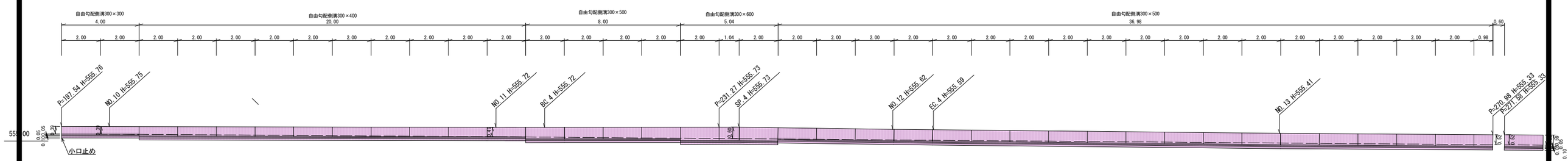
自由勾配側溝300×300西側　右

断面

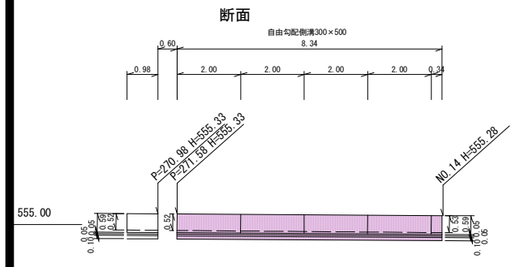


自由勾配側溝300型東側　左

断面



断面

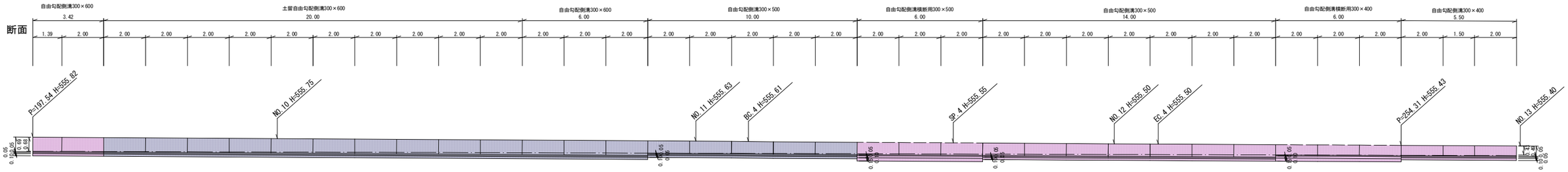


実施図

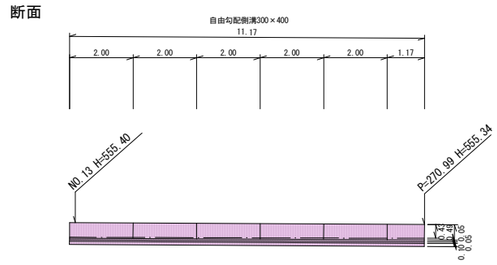
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	11／21	排水構造物展開図1	縮尺	図 示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

排水構造物展開図２　縮尺　１：１００

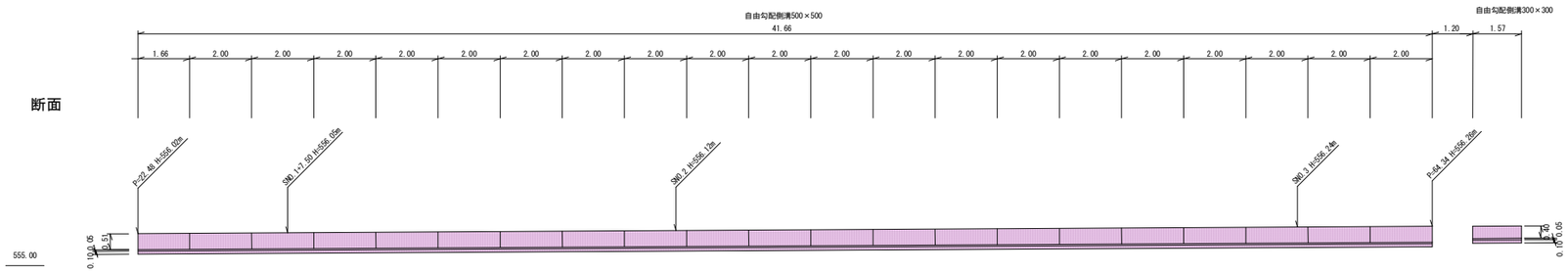
自由勾配側溝300型東側　右



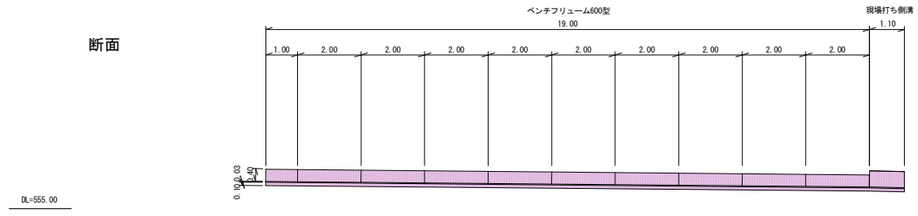
自由勾配側溝300型　東側　右



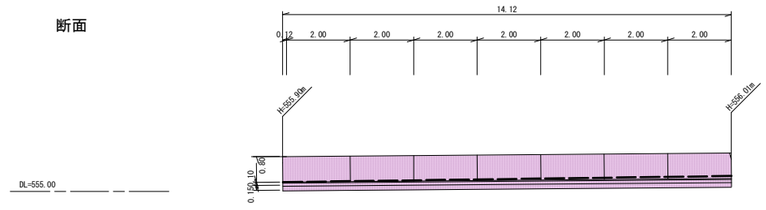
自由勾配側溝　南側　右



ベンチフリューム600型　南側　右



ボックスカルバート600×600　南側　横断



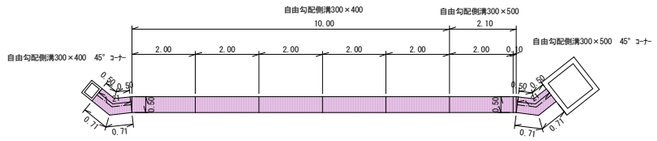
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	12／21	排水構造物展開図2	縮尺	図示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

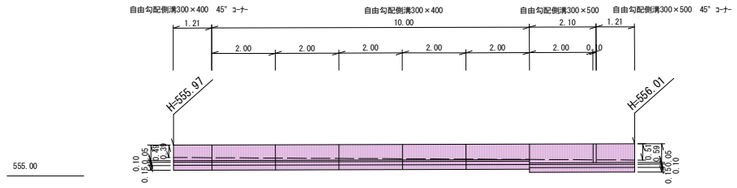
排水構造物展開図３　縮尺　１：１００

自由勾配側溝300型　西側　右

平面

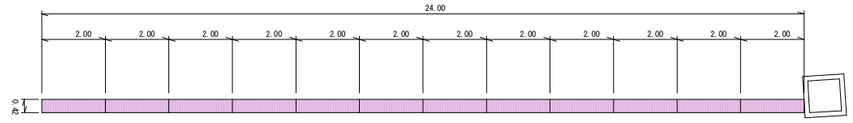


断面

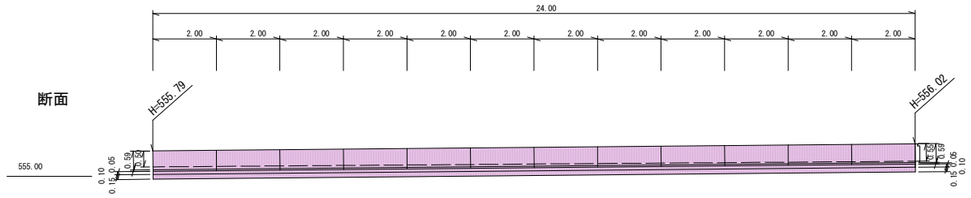


ボックスカルバート300×300　西側　横断

平面

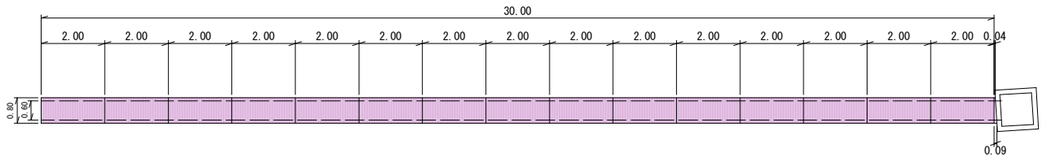


断面

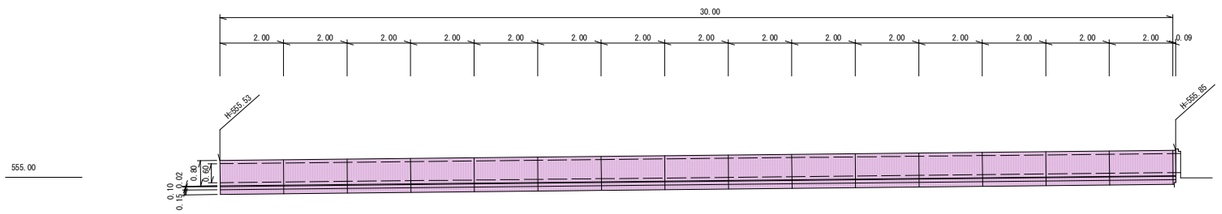


ボックスカルバート600×600　東側　横断

平面

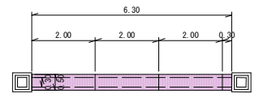


断面

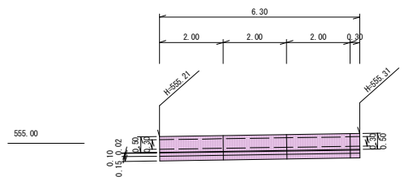


ボックスカルバート300×300　東側　横断

平面



断面



実施図

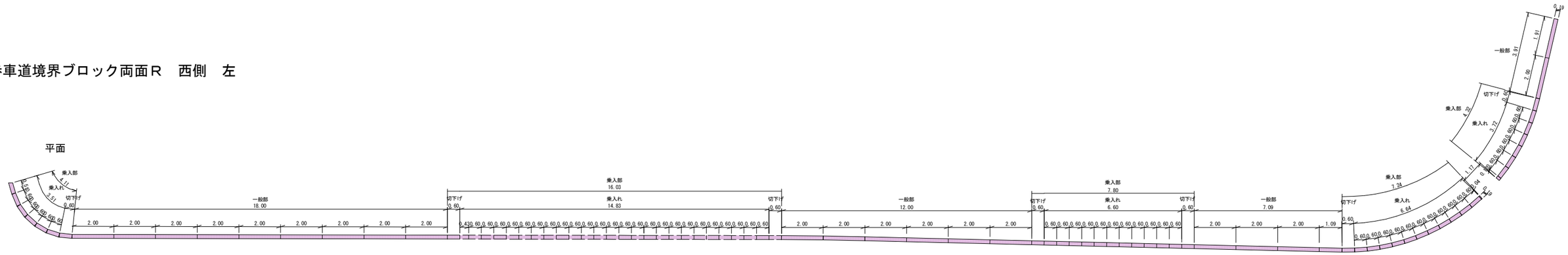
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	13／21	排水構造物展開図3	縮尺　図　示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安　曇　野　市　役　所			

付属構造物展開図１

縮尺　１：１００

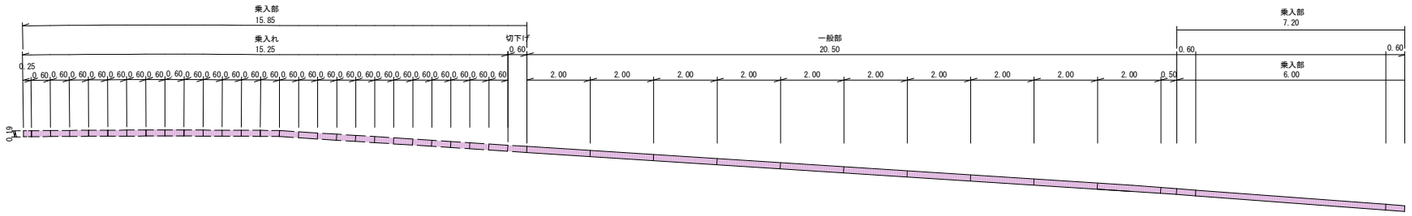
歩車道境界ブロック両面Ｒ　西側　左

平面



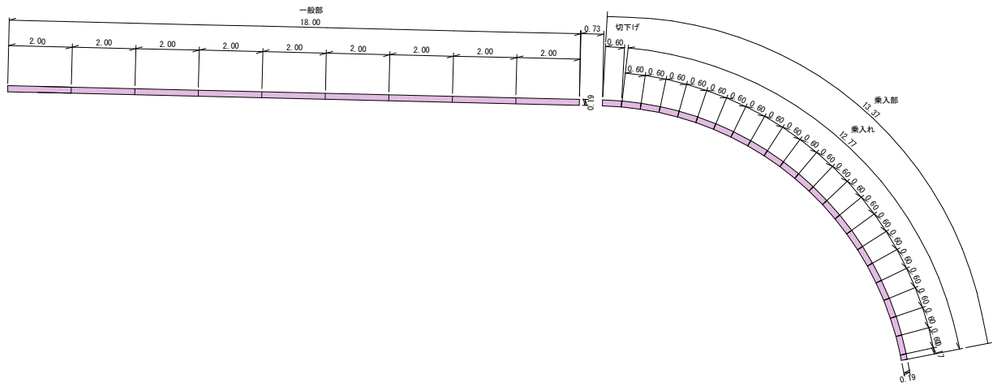
歩車道境界ブロック両面Ｒ　西側　右

平面

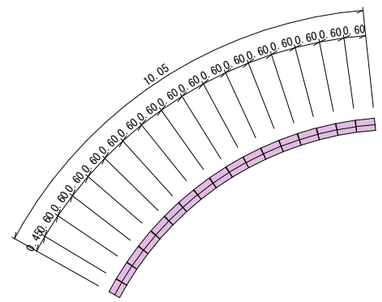


歩車道境界ブロック（乗入れ）　東側　右

平面



平面



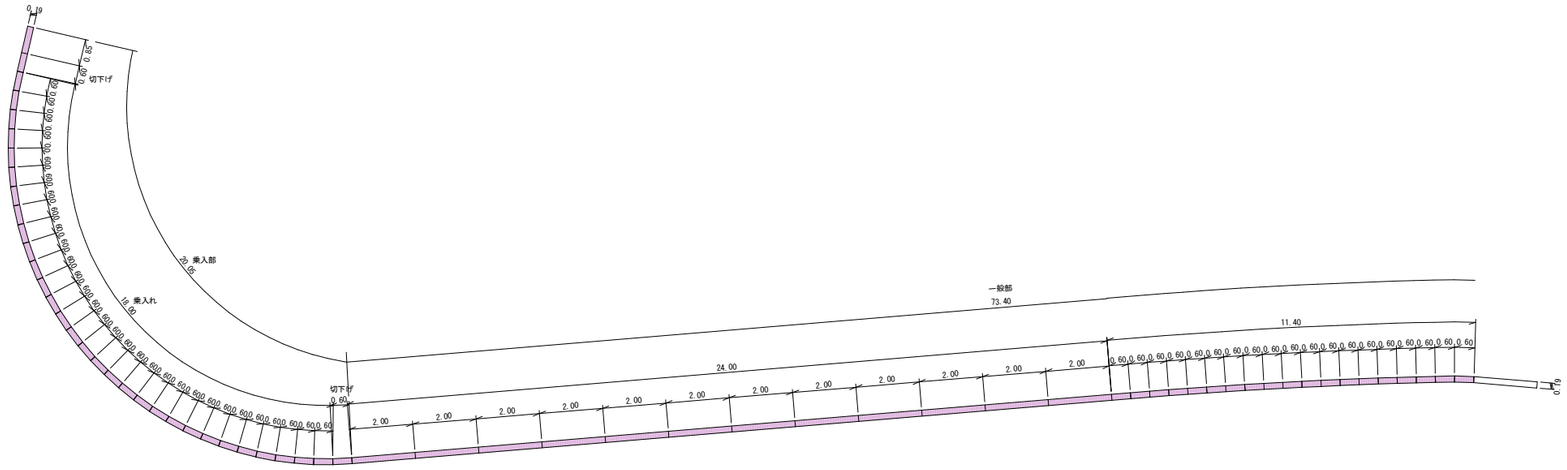
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	14／21	付属構造物展開図1	縮尺	図示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

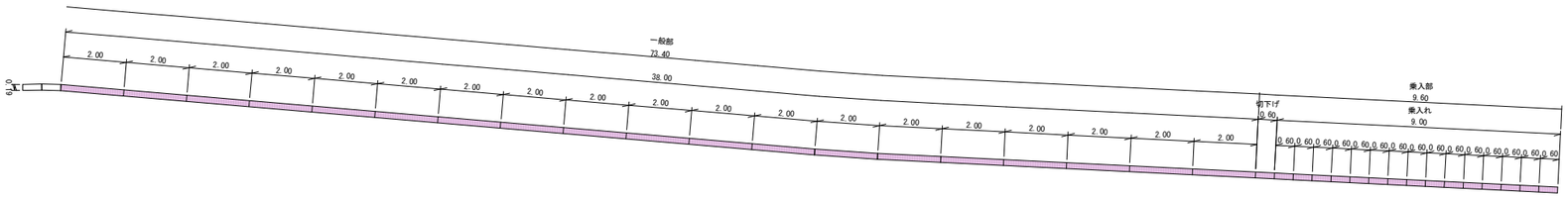
付属構造物展開図２　縮尺　１：１００

歩車道境界ブロック両面Ｒ　東側　左

平面

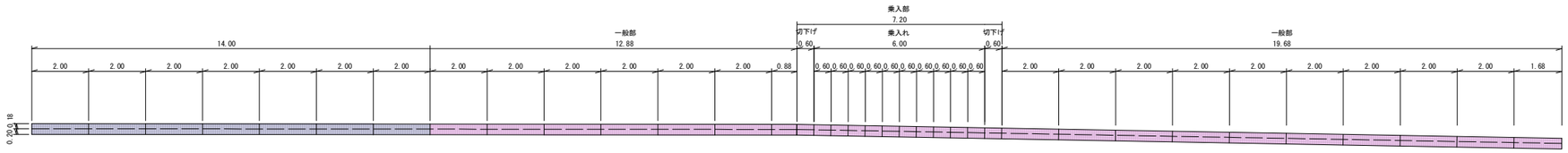


平面



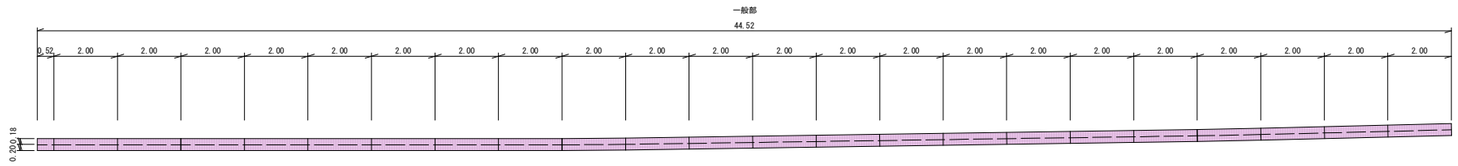
歩車道境界ブロック　南側　左

平面



歩車道境界ブロック　南側　右

平面



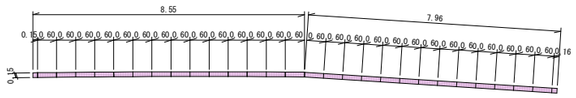
実施図

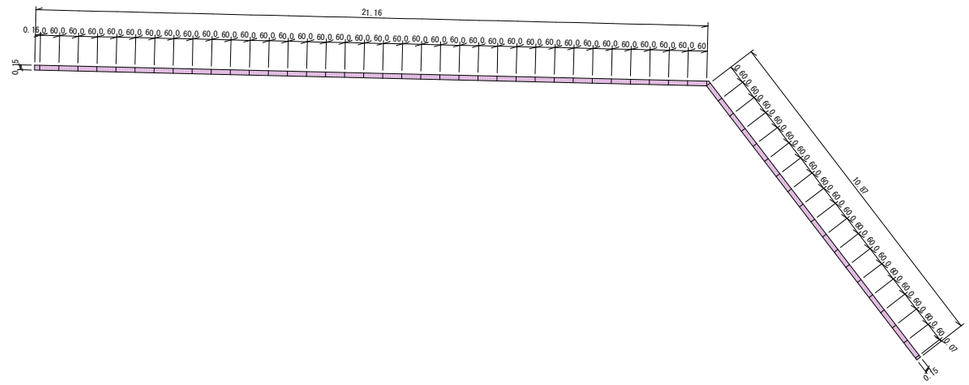
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事	
番号 15／21	付属構造物展開図2	縮尺	図　示
安曇野市　豊科	
設計会社	
測量会社	
調査会社	
安　曇　野　市　役　所	

付属構造物展開図３　縮尺　１：１００

地先境界ブロックB　西側　右

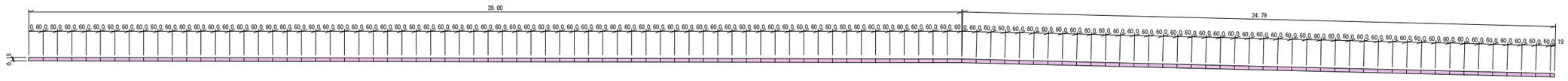
平面





地先境界ブロックB　西側　左

平面



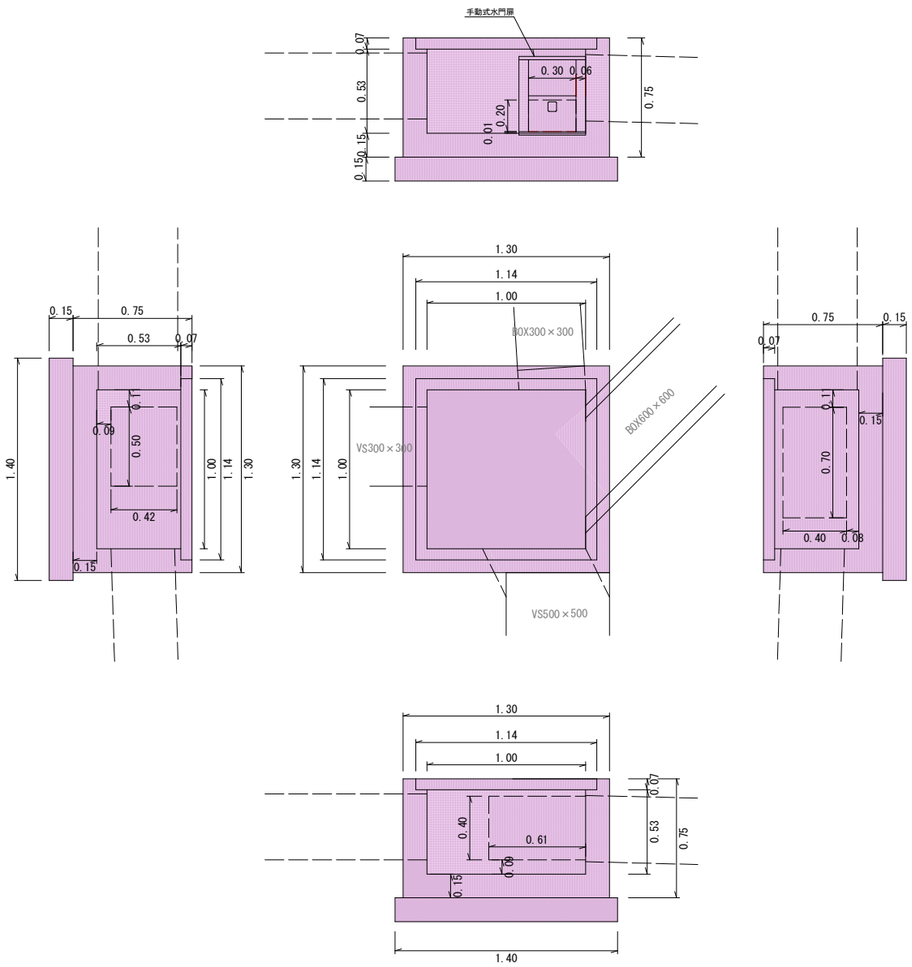
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	16／21	付属構造物展開図3	縮尺	図　示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

桝　展　開　図　縮尺　１：２０

（１／２）

１型桝　1000×1000×750



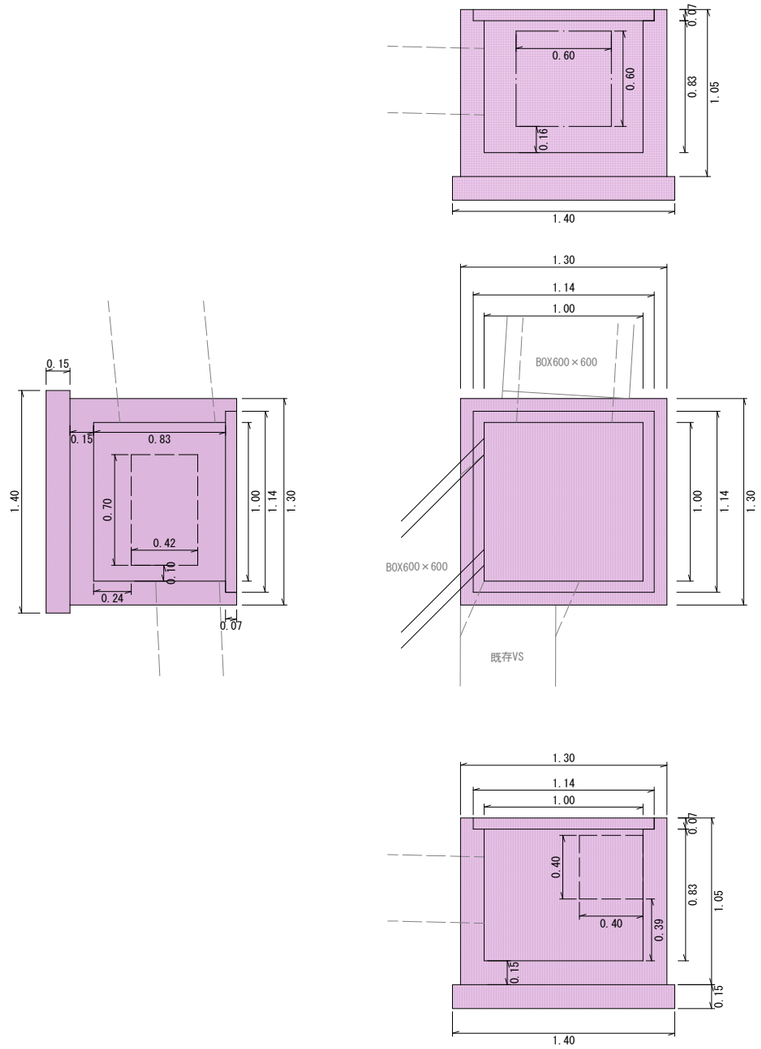
コンクリート　V=1.30×1.30×0.75−1.14×1.14×0.07−1.00×1.00×0.53−0.61×0.40×0.15−0.70×0.40×0.15−0.30×0.20×0.15−0.50×0.42×0.15＝0.53 m3

型　枠　A=1.30×0.75×4+1.14×0.07×4+1.00×0.53×4−0.61×0.40×2−0.70×0.40×2−0.30×0.20×2−0.50×0.42×2=4.75 m2

基礎砕石　A=1.40×1.40=1.96 m2

グレーチング　1000×1000　細目　T−14

２型桝　1000×1000×900



コンクリート　V=1.30×1.30×0.1.05−1.14×1.14×0.07−1.00×1.00×0.83−0.40×0.40×0.15−0.60×0.60×0.15−0.70×0.42×0.15＝0.73 m3

型　枠　A=1.30×1.05×4+1.14×0.07×4+1.00×0.83×4−0.40×0.40×2−0.60×0.60×2−0.70×0.42×2=7.47 m2

基礎砕石　A=1.40×1.40=1.96 m2

グレーチング　1000×1000　細目　T−14

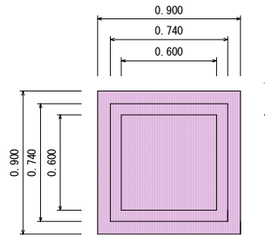
実施図

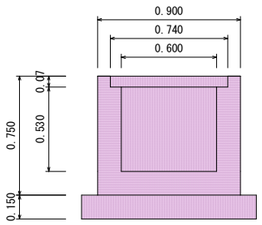
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	17／21	桝展開図 (1/2)	縮尺　図 示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

桝　展　開　図　縮尺　１：２０

（２／２）

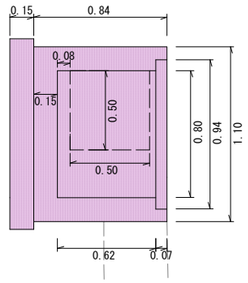
３型桝・４型桝　600×600×600

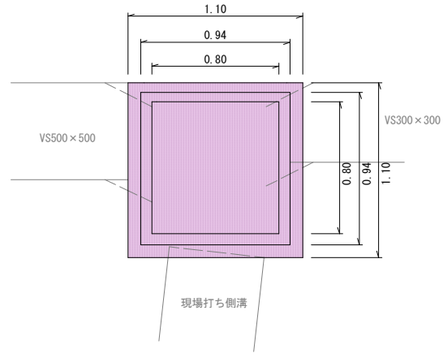


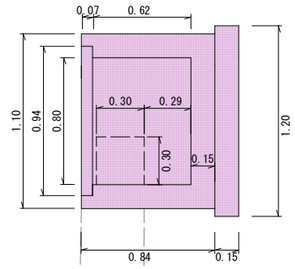


コンクリート　V=0.90×0.90×0.75−0.60×0.60×0.53−0.74×0.74×0.07＝0.38m3
型　枠　A=0.90×0.75×4+0.60×0.53×4+0.74×0.07×4=4.02m2
基礎砕石　A=1.10×1.10=1.21m2
グレーチング　600×600　普通目　T−25

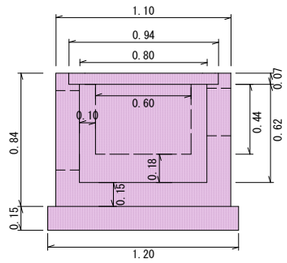
５型桝　800×800×840

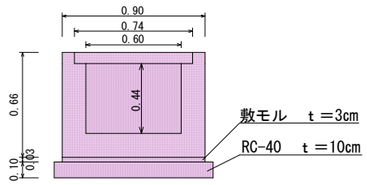






現場打ち側溝　L=1100





数量表　（10mあたり）

CO(m3)	型枠(m2)	基礎砕石(m2)	グレーチング蓋
2.8	24.0	1.1	1枚

※グレーチング規格　600×600　細目　T−14　ボルト固定

コンクリート　V=1.1×1.1×0.84−0.94×0.94×0.07−0.8×0.8×0.62−0.3×0.3×0.15−0.5×0.5×0.15−0.6×0.44×0.15＝0.48m3
型　枠　A=1.1×0.84×4+0.84×0.07×4+0.8×0.62×4−0.6×0.44×0.2−0.3×0.3×2−0.5×0.5×2＝4.71m2
基礎砕石　A=1.20×1.20=1.44m2
グレーチング　800×800　細目　T−14

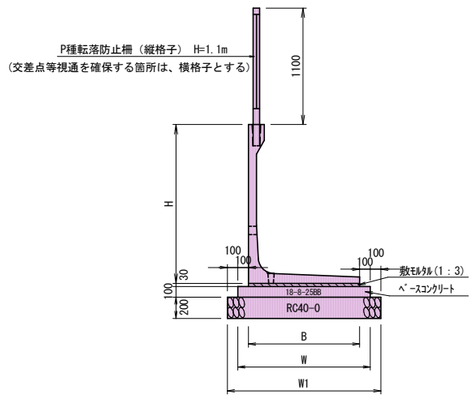
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	18／21	桝展開図 (2/2)	縮尺	図　示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

構　造　図

L 型 擁 壁 工 S=1:30

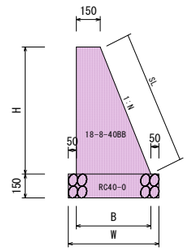
(ﾌﾟﾚｷｬｽﾄL型擁壁・ﾌｪﾝｽ設置ﾀｲﾌﾟ)



寸 法・材 料 表(参考値)　(10m当り)

H(m)	B(m)	W(m)	W1(m)	製 品 (枚)	敷きﾓﾙﾀﾙ (m3)	ﾍﾞｰｽｺﾝｸﾘｰﾄ (m3)	型 枠 (m2)	基 礎 (m2)
0.75	0.60	0.80	1.00	5	0.180	0.80	2.0	10.0
1.00	0.70	0.90	1.10	5	0.210	0.90	2.0	11.0
1.25	0.90	1.10	1.30	5	0.270	1.10	2.0	13.0
1.50	1.05	1.25	1.45	5	0.315	1.25	2.0	14.5

小 型 重 力 式 擁 壁 工 S=1:20

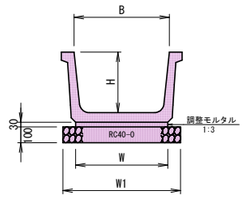


*10.0m毎に伸縮目地設置を標準とする。

材 料 表 (m当り)

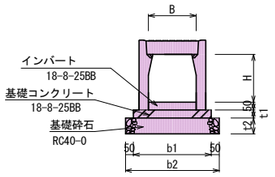
H (m)	B (m)	W (m)	SL (m)	コンクリート (m3)	型 枠 (m2)	基 礎 (m2)
0.80	0.470	0.670	0.862	0.248	2.16	0.10

ﾍﾞﾝﾁﾌﾘｭｰﾑ S=1:20



呼び寸法	寸法(mm)				材料表(10m当り)			参考重量(kg/本)
	B	H	W	W1	砕石基礎(m2)	敷ﾓﾙﾀﾙ(m3)	製 品(本)	
BF250	250	175	250	385	3.9	0.08	5	115
BF600	600	380	580	740	7.4	0.17	5	399

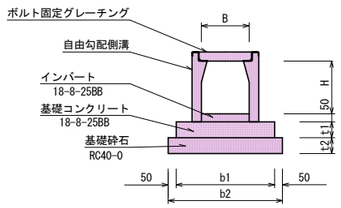
自由勾配側溝(縦断) S=1：20



寸法(mm)						材料(10m当り)						
						基礎コン	基礎材		型枠	調整CO	側溝	参考重量
B	H	b1	b2	t1	t2	(m3)	面積(m2)	体積(m3)	(m2)	体積(m3)	個(2m)	(kg/2m)
300	300	570	670	50	100	0.29	6.7	0.67	1.0	0.15	5	315
300	400	570	670	50	100	0.29	6.7	0.67	1.0	0.15	5	371
300	500	570	670	50	100	0.29	6.7	0.67	1.0	0.15	5	428
300	600	570	670	50	100	0.29	6.7	0.67	1.0	0.15	5	514
400	400	680	780	60	100	0.41	7.8	0.78	1.2	0.20	5	447
500	500	790	890	75	100	0.59	8.9	0.89	1.5	0.25	5	620

調整コンクリート、蓋類は別途計上。

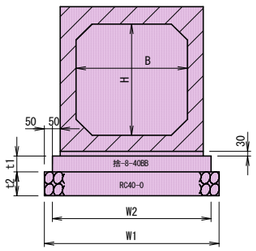
自由勾配側溝(横断) S=1：20



寸法(mm)						材料(10m当り)					
						基礎コン	基礎材		型枠	側溝	参考重量
B	H	b1	b2	t1	t2	(m3)	面積(m2)	体積(m3)	(m2)	個(2m)	(kg/2m)
300	300	620	720	100	150	0.62	10.8	1.08	2.0	5	475
300	400	620	720	100	150	0.62	10.8	1.08	2.0	5	550
300	500	620	720	100	150	0.62	10.8	1.08	2.0	5	624
400	500	730	830	100	150	0.73	12.5	1.25	2.4	5	721

調整コンクリーは別途計上、グレーチングは製品込。

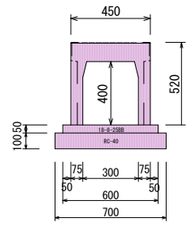
ボックスカルバート S=1:20



呼 び 寸 法	ｺﾝｸﾘｰﾄ(t1)	基礎砕石(t2)
B300*H300～1000*1000	100	150
B1100*1100～2000*2000	150	200
B2200*H1800～3500*2500	200	250

呼び寸法	寸法(mm)		基礎砕石幅(W1)	捨コン幅(W2)	材料表(10m当り)					参考重量(kg/本)
	幅(B)	高さ(H)			砕石基礎(m2)	型 枠(m2)	ｺﾝｸﾘｰﾄ(m3)	敷ﾓﾙﾀﾙ(m3)	製 品(本)	
B300*H300	300	300	640	540	6.4	2.0	0.54	0.10	5	540
B400*H400	400	400	760	660	7.6	2.0	0.66	0.17	5	820
B600*H600	600	600	1000	900	10.0	2.0	1.00	0.24	5	1500

自由勾配側溝用桝 S=1:20



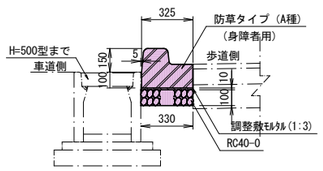
材料表 (m当り)

基 礎 (m2)	砕 石 (m2)
0.03	0.07

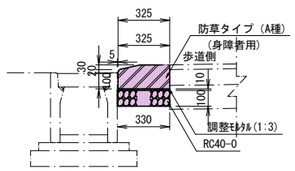
参考重量137kg

1型歩車道境界ﾌﾞﾛｯｸ工 S=1:20

(一般部)



(乗入部)



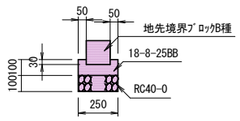
材 料 表 (10.0m当り)

基　礎A= 0.330*10.0=3.3m2

調整モルタルV= 0.325*0.01*10.0=0.03m3

防草ブロックA種=16.5個

地先境界ﾌﾞﾛｯｸS=1:20

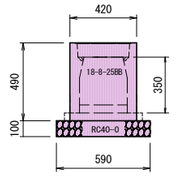


材料表

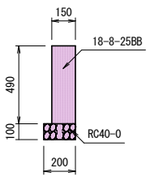
材料表 (10m当り)			
ｺﾝｸﾘｰﾄ (m3)	型枠 (m2)	基礎材 (m2)	ﾌﾞﾛｯｸ(B種) (本)
0.22	2.0	2.5	16.5

1型小口止工S=1:20

正 面 図



側 面 図



材 料 表 (1基当り)

コンクリート= 0.42*0.49*0.15=0.03m3

型　　枠= 0.49*0.42+0.30*0.35+0.15*0.49*2=0.5m2

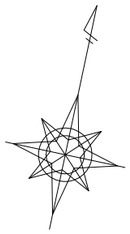
基　　礎= 0.59*0.20=0.1m2

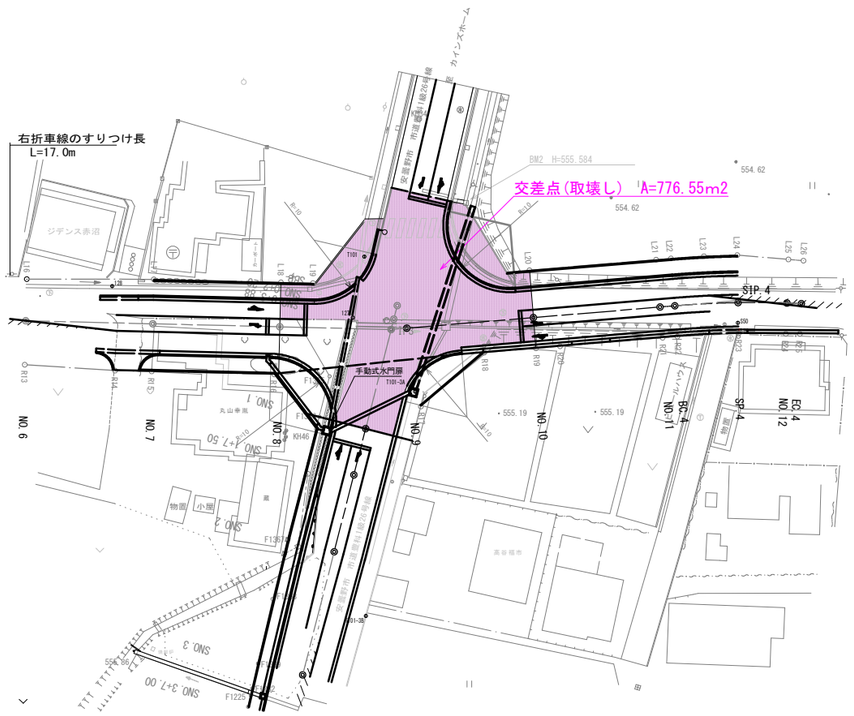
実施図

令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	19／21	構 造 図	縮尺 / 図 示
安曇野市 豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安 曇 野 市 役 所			

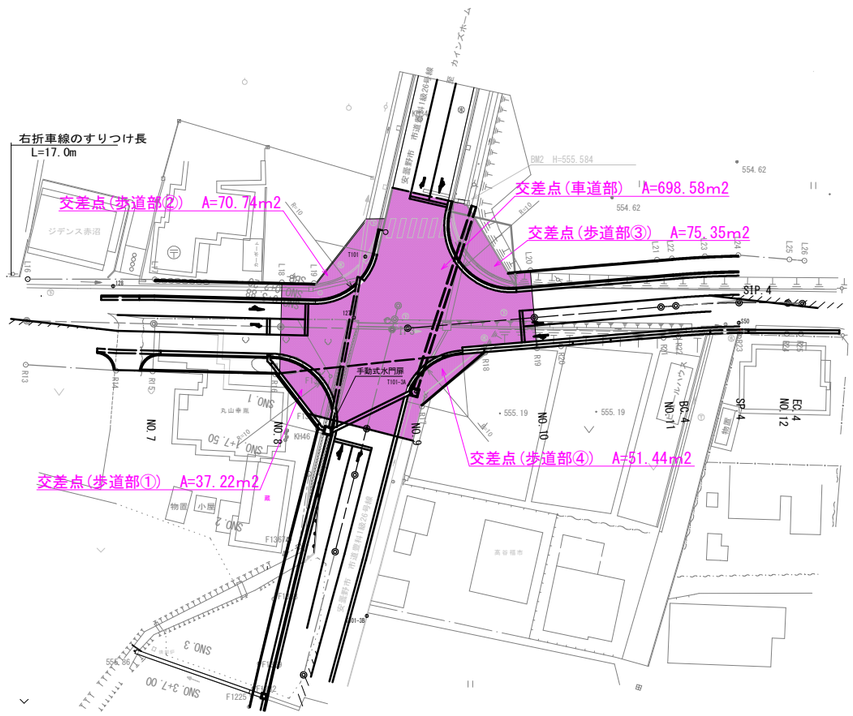
交 差 点 部 面 積 図　S=1:500

安曇野市　豊科





交差点面積
車道部　698.58m2
歩道部　①＋②＋③＋④＝234.75m2



実施図

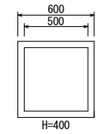
令和６年度 合併特例債事業 市道豊科１級26号線道路改良工事				
番号	20／21	交差点部面積図	縮尺	図　示
安曇野市　豊科				
設計会社				
測量会社				
調査会社				
安　曇　野　市　役　所				

撤　去　平　面　図

S=1:250

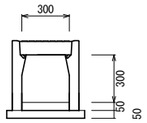
安曇野市　豊科

①集水桝500×500



無筋CO　0.6×0.6×0.45-0.5×0.5×0.4=0.06m3

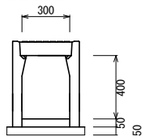
②自由勾配側溝300×300



A=0.09m2
L=60.5m

二次製品　0.09×60.5=5.45m3
無筋CO　0.05×0.3×60.5+0.05×0.57×60.5=2.63m3

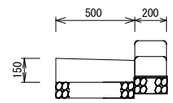
③自由勾配側溝300×400



A=0.09m2
L=7.0+9.0=16.0m

二次製品　0.09×16.0=1.44m3
無筋CO　0.05×0.3×60.5+0.05×0.57×60.5=2.63m3

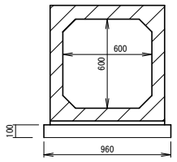
④歩車道境界ブロック



一般　A=0.07m2　　一般　L=2.0+5.3=7.3m
乗入　A=0.02m2　　乗入　L=12.9+8.0=20.9m

二次製品　0.07×7.3+0.02×20.9=0.71m3
無筋CO　0.15×0.5×28.2=2.12m3

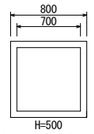
⑤ボックスカルバート600×600



A=0.29m2
L=18.6m

二次製品　0.29×18.6=5.4m3
無筋CO　0.1×0.96×18.6=1.79m3

⑥集水桝500×500

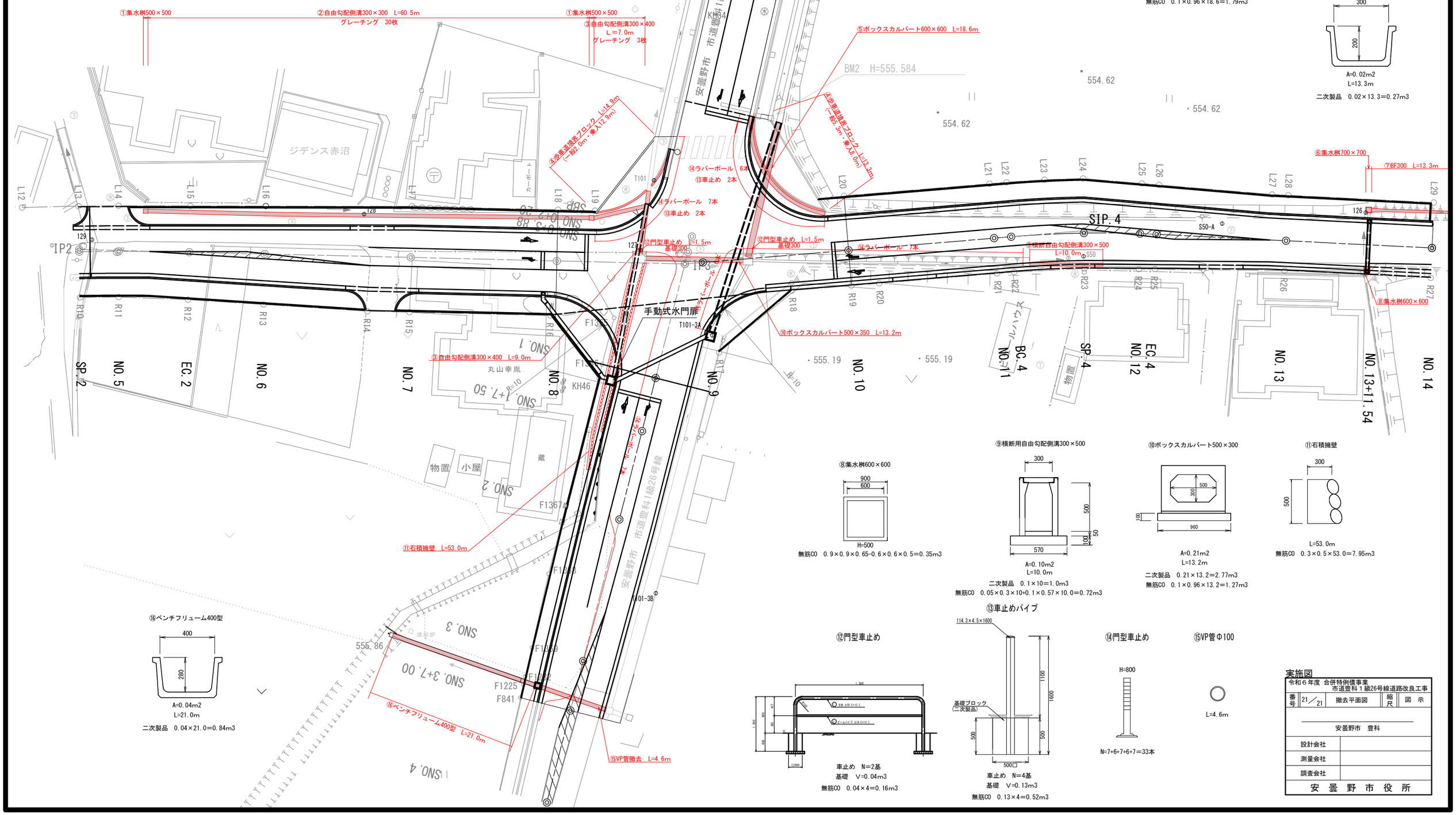


無筋CO　0.8×0.8×0.55-0.7×0.7×0.50=0.11m3

⑦ベンチフリューム300型

A=0.02m2
L=13.3m

二次製品　0.02×13.3=0.27m3



⑧集水桝600×600

無筋CO　0.9×0.9×0.65-0.6×0.6×0.5=0.35m3

⑨横断用自由勾配側溝300×500

A=0.10m2
L=10.0m

二次製品　0.1×10=1.0m3
無筋CO　0.05×0.3×10+0.1×0.57×10.0=0.72m3

⑩ボックスカルバート500×300

A=0.21m2
L=13.2m

二次製品　0.21×13.2=2.77m3
無筋CO　0.1×0.96×13.2=1.27m3

⑪石積擁壁

L=53.0m
無筋CO　0.3×0.5×53.0=7.95m3

⑯ベンチフリューム400型

A=0.04m2
L=21.0m

二次製品　0.04×21.0=0.84m3

⑫門型車止め

車止め　N=2基
基礎　V=0.04m3
無筋CO　0.04×4=0.16m3

⑬車止めパイプ

車止め　N=4基
基礎　V=0.13m3
無筋CO　0.13×4=0.52m3

⑭門型車止め

N=7+6+6+6+7=33本

⑮VP管Φ100

L=4.6m

実施図

令和６年度　合併特例債事業　市道豊科１級26号線道路改良工事			
番号	21／21	撤去平面図	縮尺　図　示
安曇野市　豊科			
設計会社			
測量会社			
調査会社			
安　曇　野　市　役　所			